

# 



令和3(2021)年度 年報

#### (公財) アジア女性交流・研究フォーラムの主な事業



第32回アジア女性会議ー北九州「ICTと女性~情報化時代における女性のエンパワーメント~」



国際理解セミナー「女性のエンパワーメント〜多文化共生の視点から〜」 北九州市立男女共同参画センター・ムーブとの共同実施



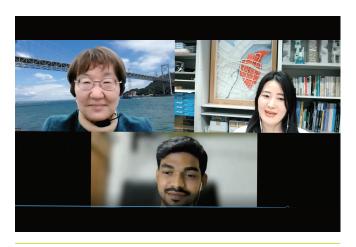
行政官のためのジェンダー主流化政策 (B)



ブータン国別研修 女性と子どもの保護とケア(A)



第 34 回 KFAW 研究報告会 (会場視聴の様子)



第66回 国連女性の地位委員会 (CSW66) NGO フォーラム パラレルイベント 「Youth talk: action for climate justice, disaster prevention & gender equality」

## 北九州市立男女共同参画センター・ムーブの主な事業



おとこのライフセミナー:笠井信輔さん講演会 「生きるカ ーワーク・ライフ・バランスと働き方改革ー」



男女共同参画啓発講座:大崎麻子さん講演会 「エンパワーメントの旅〜わたしの仕事と子育て〜」



女性のエンパワーメント事業 働く女性のためのフォローアップセミナー



男性にとっての男女共同参画 育児男子講座



若者のキャリア形成への支援 キャリア形成プログラム

# 目 次

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラムの概要	
設立趣意書	
目的	• 3
事業内容	• 3
組織	• 3
職員数	• 4
役員等	• 4
運営	• 5
令和 3(2021)年度実施事業	
公益目的事業 I	
調査・研究事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 8
交流・研修事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 11
情報収集・発信事業	• 14
国際研修事業	• 15
その他	• 16
公益目的事業Ⅱ	
指定管理事業	• 20
男女共同参画センター管理運営業務 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 20
自主事業	• 28
男女共同参画センター自主事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 28
指定管理施設利用状況 ······	• 29
収益事業等	
その他事業 I :北九州市大手町ビル維持管理事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 32
その他事業Ⅱ:北九州市立男女共同参画センター等の公益目的以外の貸与事業	• 32
法人事業	
財務諸表	
貸借対照表内訳表	• 36
正味財産増減計算書内訳表	• 37
財務諸表に対する注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 38
·····································	
公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラムの歩み	• 42
刊行物一覧	• 51
海外とのネットワーク	. 57
施設案内	. 58

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラムの概要

# 設立趣意書

今日、国際社会においては、地球的規模で、世界の平和と人類の福祉向上の実現に向けての努力が重ねられています。

女性の地位向上の面においても、一国の全面的な発展及び世界の福祉・平和のためには、女性が男性と共に、社会のあらゆる分野に参画することが必要であることが認識され、1975年の「国際婦人年」を契機に、続く「国連婦人の十年」において「平等・開発・平和」を目標として世界的な規模での活動が活発に展開されてきました。しかし、実質的な女性の地位向上には、まだ多くの問題が残されており、国連婦人の十年以後もその精神を引き継ぎ、ナイロビ世界会議で採択された西暦 2000 年に向けての「婦人の地位向上のためのナイロビ将来戦略」に沿って、世界各地で目標達成のための努力が続けられています。

女性問題は、女性が単に女性であるということから生じるさまざまな不利益、不平等の問題であり、基本的人権、人間の尊厳にかかわる問題であります。その意味において、女性問題は女性だけの問題ではなく、男性を含む社会全体の、世界的に共通な問題であるといえます。このような観点から、現在、女性の視点が反映されることの少なかった従来の社会のありかたの再構築の必要性が認識され、男女共同参画による社会づくりが強く求められています。特に、開発途上国においては、国の開発の推進と開発における女性の参画が重要な問題となっています。

このような女性問題に対する認識と国際婦人年以来のさまざまな活動をふまえ、北九州市のふるさと創生事業を契機にアジア女性交流・研究フォーラムは事業を開始しました。以来、女性の地位向上とアジア地域の連帯・発展の核として機能することを目指して、日本及び他のアジア地域の女性問題に関する調査・研究及び情報の収集・提供、あるいは開発途上国の人材養成のための研修ならびに相互理解を促進するための国際交流などの活動を行ってきました。

国際社会が相互依存の関係を強め、日本の国際的役割がいっそう重要になるなかで、わたしたちは、アジア女性交流・研究フォーラムの事業の使命と意義を更に深く認識し、安定的な財政基盤の確保と、これまでの活動の一層の充実を図り、日本における女性問題の所在をより明確にするとともに、アジアの女性の地位向上に更に寄与することを念願し、ひいては、国際婦人年以降の目標である「平等・開発・平和」を達成するため、財団法人アジア女性交流・研究フォーラムを設立いたします。(1993年起草)

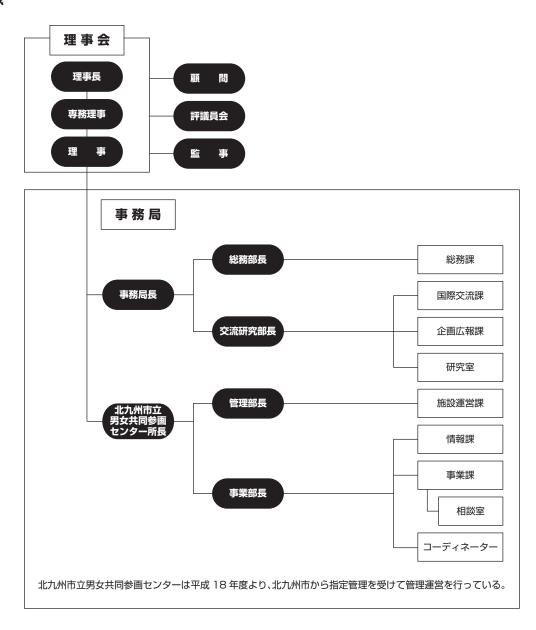
#### 目的

日本及び他のアジア諸国のジェンダー(社会的性別)問題に関する調査研究及び国際交流等を行うとともに、男女共同参画社会の形成の推進に関する取り組みを支援することにより、女性の地位向上及び男女共同参画社会の形成の推進を図り、もって、日本及び他のアジア地域相互の発展に寄与することを目的とする。

#### 事業内容

- (1) ジェンダーや男女共同参画に関する課題についての調査・研究
- (2) ジェンダーや男女共同参画に関する課題についての国際交流・研修
- (3) ジェンダーや男女共同参画に関する課題についての情報収集・発信
- (4) 北九州市立男女共同参画センターの管理・運営
- (5) その他、本財団の目的を達成するために必要な事業

#### 組織



#### 職員数

令和4年3月31日現在

区分	所長	事務局長	部長級	課長級	職員	計
市派遣職員			2	3		5
うちムーブ職員*1			2 (兼務)	2		4
嘱託職員				4	21	25
うちムーブ職員*1				2	15	17
その他(役員との兼務)	1 ** 2	1 ** 3				1

- ※1 北九州市立男女共同参画センター・ムーブの管理運営に従事する職員
- ※2 所長は専務理事が兼務する。
- ※3 所長は専務理事が兼務する。

#### 役員等 (五十音順)

令和4年3月31日現在

理事長

堀内 光子 公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム理事長

専務理事

江副 春之

理事

小川 健一郎 公益財団法人大阪 YMCA 代表理事

北野 久美 北九州市保育士会会長

田村 慶子 北九州市立大学教授

渡邊 典子 弁護士

湯淺 墾道 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授、北九州市男女共同参画審議

会副会長

監事

藤野 啓介 株式会社福岡銀行常務執行役員北九州本部長

山本 浩二 北九州市会計室長

顧問

北橋 健治北九州市長服部 誠太郎福岡県知事

#### 評議員

梅本 和秀 北九州市副市長

大島 まな 九州女子大学教授

浜 和枝 北九州市婦人会連絡協議会会長

窪田 由紀 九州産業大学教授

戴 二彪 公益財団法人アジア成長研究所副所長

沼田 文子 北九州市女性団体連絡会議会長

冨安 兆子 高齢社会をよくする北九州女性の会代表

羽田野 隆士 北九州商工会議所専務理事

松尾 太加志 北九州市立大学学長

村上 順滋 北九州市私立幼稚園連盟会長

#### 運 営

#### 1 理事会

(1) 第1回理事会(みなし決議)

議 案 令和3年度臨時評議員会(みなし決議)の開催について

議事結果 議案可決

#### (2) 第2回理事会

開催日 令和3年6月3日(木)10:30~12:00

場 所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 5階小セミナールーム

出席者数 8名

議 案・令和2年度事業報告及び決算について

・顧問の選任について

・令和3年度定時評議員会の開催について

議事結果 全議案可決

#### (3) 第3回理事会(みなし決議)

議 案 ・理事長(代表理事)1名の選定

・専務理事 (業務執行理事) 1名の選定

議事結果 全議案可決

#### (4) 第 4 回理事会

開催日 令和4年3月7日(月)10:30~12:15

場 所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 5階小セミナールーム

出席者数 9名

議 案 ・就業規則の一部改正について

・令和4年度事業計画及び収支予算について

議事結果 全議案可決

#### 2 評議員会

(1) 臨時評議員会(みなし決議)

決議があったとみなされた日 令和3年4月26日(月)

議 案 監事の選任について

議事結果 議案可決

#### (2) 定時評議員会

開催日 令和3年6月22日(火)14:00~15:15

議 案・令和2年度決算について

・評議員の選任について

・理事の選任について

・監事の選任について

議事結果 全議案可決

# 令和 3(2021)年度実施事業 公益目的事業 I



# 日本及びアジア地域のジェンダー問題に関する調査研究、 国際協力・交流等を通じて女性の地位向上を図る事業

#### 【概況】

アジア女性交流・研究フォーラム(KFAW)は、平成2年10月に設立、平成5年10月に労働省(現厚生労働省)の認可を受けて財団法人となり、平成25年4月1日に内閣府の認定を受けて公益財団法人に移行した。設立以降、女性の地位向上及び男女共同参画社会の形成の推進を図るため、さまざまな活動を展開してきた。

令和3年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止への対応として、積極的にオンラインを活用する等により重要事業の継続的実施を図った。

調査・研究事業として、1 組の客員研究員研究を選考するとともに、研究報告会を 2 回オンラインで実施した。アジアジェンダー研究者ネットワーク活動として、共同研究図書『変容するアジアの家族』の出版にまで至った。

交流・研修事業としては、「ICTと女性」をテーマに「アジア女性会議 – 北九州」を開催し、情報化時代における女性のエンパワーメントについて討議した。

また、国際研修事業として、開発途上国向けの「行政官のためのジェンダー主流化政策」研修をオンラインで2回実施するとともに、初の国別研修として「ブータン・女性と子どもの保護とケア (A)」を実施した。

第66回国連女性の地位委員会(CSW66)は、会議へのオンライン参加とともに、NGOフォーラムで KFAW もパラレルイベントとして「気候変動、防災・減災とジェンダー平等」をテーマに、日本を含むアジア諸国のユースの取り組み発表を行った。

# 1 調査・研究事業

KFAW 客員研究員による調査研究を行うとともに、研究報告会の開催や研究誌の刊行によって研究成果を公開し、研究者、市民等と共有した。また、KFAW アジアジェンダー研究者ネットワーク活動を活発化させるとともに、キャリア形成のためのプログラム開発などを行った。

#### (1) 客員研究員研究

KFAW の調査・研究事業については、客員研究員への委託により時宜に適したテーマによる調査研究を実施した。令和3年度は、1組の客員研究員研究を選考した(調査期間:令和3年度~令和4年度)。

ア R3/R4年度 KFAW 客員研究員と研究テーマ

(ア) 新型コロナウイルスが障害女性の日常に及ぼす影響:バングラデシュを事例として 上智大学アジア文化研究所客員所員 金澤真実

#### イ 研究誌の刊行

KFAW 客員研究員等の論文を収録した研究誌『アジア女性研究』及び『KFAW 調査研究報告書』を刊行した。

- ・『アジア女性研究』第31号 500部
- ·『KFAW 調査研究報告書』 100 部

**2021-1** 離婚過程の女性が抱える課題と支援ニーズ – シングルマザー・プレシングルマザーのインタビュー調査から



『アジア女性研究』第31号



KFAW 調査研究報告書 2021-1

#### ウ 研究報告会の開催

研究報告会を開催して、研究成果を市民、研究者に発信した。

- (ア) 第 33 回 KFAW 研究報告会 (オンライン配信及び会場視聴)
  - ① 日時 令和3年10月2日(土)14:00~15:15
  - ② 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
  - ③ 報告内容、報告者

「地方自治体におけるパートナーシップ制度の現状と課題」 鹿児島大学法文学部教授 原田いづみ

- (イ) 第 34 回 KFAW 研究報告会(オンライン配信及び会場視聴)
  - ① 日時 令和 4 年 3 月 12 日 (土) 14:00 ~ 15:15
  - ② 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
  - ③ 報告内容、報告者

「離婚過程の女性が抱える課題と支援ニーズ - シングルマザー・プレシングルマザーのインタビュー調査から」

昭和女子大学女性文化研究所特別研究員 宫坂順子



#### (2) KFAW アジアジェンダー研究者ネットワーク活動

ア アジアジェンダー研究者によるセミナーの開催

ジェンダーに関するさまざまな分野の研究者や実務者が、アジア地域を対象とする研究の成果について、市民を含む多くの人々と共有するため、セミナーを開催するとともに KFAW アジアジェンダー研究者ネットワーク活動の充実を図った。

- (ア) 令和3年度第1回 KFAW アジアジェンダー研究者ネットワークセミナー
  - ① テーマ 「スポーツ界から発信するジェンダー平等~オリンピック開催国から世界への メッセージ~ |
  - ② 日時 令和3年10月24日(日)14:00~16:15
  - ③ 場所 北九州国際会議場・メインホール
  - ④ 講師 リディア・セケラ (国際オリンピック委員会・女性スポーツ委員会委員長)
  - ⑤ 参加者 180名
  - ⑥ 内容 北九州市で開催された世界体操・新体操選手権の開催を記念して、国際体操連盟、北九州市と、国際オリンピック委員会・女性スポーツ委員会委員長のジェンダー平等に関する講演会を共催した。男女平等は、男性と女性がチームワークを組んで、共通の目標を持って推進しなければならないとの力強いメッセージが発信された。

#### イ アジアジェンダー研究者による共同研究

九州地域内のジェンダー研究者のネットワーク活動によって、「変容するアジアの家族」を テーマに共同研究、研究図書出版に向け共同執筆を行うことを目的に、アジアジェンダー研究者 ネットワーク会議を開催した。共同研究図書『変容するアジアの家族』(令和 4 年 3 月刊行)の 出版に向けて、海外通信員のコラム掲載などに取り組んだ。

#### ウ キャリア形成のためのプログラム開発

大学生の卒業後の働き方や自己実現のために、男女共同参画や女性活躍の視点も踏まえ開発した「大学生のためのキャリア形成プログラム」を改訂し、市内3大学で8回、対面やオンライン、オンデマンド方式で講義を行った。

# 2 交流・研修事業

「第 32 回アジア女性会議 – 北九州」や NGO CSW66 パラレルイベント「Youth talk: action for climate justice, disaster prevention & gender equality」(若者による討議:気候正義、防災、そしてジェンダー平等への行動。使用言語は英語のみ)を開催した。

#### (1) 「アジア女性会議-北九州」等の国際セミナーの開催

ア アジア女性会議-北九州

「ICT と女性」をテーマに、アジア女性会議 – 北九州を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大のため、昨年に引き続きオンラインで実施した。国立女性教育会館(NWEC)理事長の内海房子氏と明治大学公共政策大学院教授で当財団理事でもある湯淺墾道氏から「ICT 分野の人材育成、ICT が日常生活に及ぼす影響、情報セキュリティ問題」をテーマに対談いただいたほか、地元企業の㈱ソルネット DX センター長の西野 幸氏による「誰もが働きやすい職場実現」の取り組み紹介の後、3 組の個人・NGO による活動事例発表を行った。

- (ア) 国際シンポジウム『第32回アジア女性会議-北九州』の開催
  - ① 日時 令和3年11月5日(金)13:30~15:30
  - ② 場所 オンライン配信 (Zoom)(視聴会場 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ)
  - ④ 参加者 83 名 (オンライン 77 名、会場 6 名)
  - ⑤ 専門家対談 内海房子 (独立行政法人 国立女性教育会館 (NWEC) 理事長) 湯淺墾道 (明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科 教授)
  - ⑥ 企業の取り組み 西野 幸 (㈱ソルネット DX センター長)
  - ⑦ 活動事例発表 臼井久実子(DPI女性障害者ネットワーク 役員) ニシャット・タスリン・モハナ(KFAW 第 31 期海外通信員) ディナ・ルンバントービング(プルマンプ・コンソーシアム共同設立者 兼コーディネーター)
  - ⑧ 総括 堀内光子 (KFAW 理事長)
  - ⑨ 事後配信 YouTube 配信 令和 4 年 1 月中旬より 1 ヶ月程度
  - ⑩ 報告書の作成

#### イ 国際理解促進事業

在福岡米国領事館の広報担当領事、ユキ・近藤・シャー氏を招き、バイデン政権の優先課題である、米国社会を反映した多様性に富む政府の実現の重要性と、誰もが活躍できる職場や社会の構築に必要なことについて、広く市民に知ってもらうためのセミナーを開催した。

また、令和 4 年 3 月に開催された第 66 回国連女性の地位委員会(CSW66)では、昨年度に引き続き NGO フォーラムにて主催のイベントを開催した。内容は防災・減災とジェンダー平等について、アジア諸国・日本の若者による討論会を実施した。



- (ア) 第65回国連女性の地位委員会(CSW65)報告会
  - ① 報告内容
    - 1) CSW65 について

<優先テーマ>

「ジェンダー平等とすべての女性・少女のエンパワーメント達成のために、公的生活に おける完全かつ効果的な参加と意思決定及び暴力撤廃」

<レビューテーマ>

「女性のエンパワーメント及び持続可能な開発とのリンク」

2) NGO CSW65 フォーラム パラレルイベントについて

<テーマ>

[Youth talk: climate action and gender]

- ② 日時 令和3年6月16日(水)14:00~15:30
- ③ 場所 オンライン配信 (Zoom)
- ④ 報告者 (優先テーマ、レビューテーマの会議概要報告) 堀内光子(KFAW 理事長)
- ⑤ ユース発表者 (パラレルイベント「Youth talk: climate action and gender」の報告)村井夏輝(慶応義塾大学学生、JYPS 事務局員)永田理乃(マンチェスター大学大学院学生)
- ⑥ 参加者 54名
- ⑦ 事後配信 YouTube 配信 令和 3 年 6 月中旬より 1 ヶ月程度
- (イ) 国際理解セミナー「女性のエンパワーメント~多文化共生の視点から~」(北九州市立男女 共同参画センター・ムーブとの共同実施)
  - ① 日時 令和3年9月4日(土)14:00~16:00
  - ② 場所 オンライン配信 (Zoom)
  - ③ 講師 ユキ・近藤・シャー(在福岡米国領事館 広報担当領事兼福岡アメリカン・センター館長)
  - ④ 対談 甲木正子(西日本新聞社 執行役員北九州本社代表 兼営業部長)
  - ⑤ 参加者 68名
  - ⑥ 事後配信 YouTube 配信 令和 3 年 9 月上旬より 1 ヶ月程度
  - ⑦ 主催 KFAW /北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

- (ウ) 第 66 回国連女性の地位委員会 (CSW66) NGO フォーラムパラレルイベント (使用言語は英語)
  - ① テーマ Youth talk: action for climate justice, disaster prevention & gender equality (若者による討論: 気候正義、防災、そしてジェンダー平等への行動)
  - ② 日時 令和 4 年 3 月 17 日 (木) 17:00 ~ 18:30
  - ③ 場所 オンライン配信 (Zoom)
  - ④ 参加者 38名
  - ⑤ 基調講演 加藤尊秋(北九州市立大学国際環境工学部教授)
  - ⑥ 北九州市および市民団体の取り組み紹介大村昭子(北九州市危機管理室危機管理課 防災連携担当係長)
  - (7) ユース発表者

リナ・スルヤニ・オクタリ (シヤ・クアラ大学 (インドネシア) 医学部 助教 授)

ファヒム・イスマイル(スリジャヤファルダナプラ大学(スリランカ)工学部 学生、Helping Wings 創立者)

森 友里歌(北九州市立大学大学院国際環境工学研究科 博士課程学生、NPO 北九州ビオトープ・ネットワーク研究会)

- ⑧ モデレーター 堀内光子(KFAW 理事長)
- ⑨ 事後配信 YouTube 配信 令和 4 年 3 月下旬より 1 ヶ月程度
- ウ 高校生向け男女共同参画意識の啓発

高校生が将来に向けて自己実現や男女共同参画を考えるためのセミナーを実施した。

(ア) 高校生キャリア形成プログラム 北九州ひとみらいプレイス若者支援事業「考えよう、あなたの未来 ~働き方、暮らし方~」 (北九州ひとみらいプレイスとの共同実施)

① 内容

<第1部>「働き方、暮らし方」を考える課題研究の発表

<第2部> 「大切にしよう、自分のこと。」(講話)

- ② 日時 令和3年8月8日(日)14:00~15:15
- ③ 場所 オンライン配信 (Zoom)
- ④ 発表者 (第1部)砂川史佳(福岡県立東筑高校3年)
- ⑤ 講師 (第2部)黒瀬まり子(臨床心理士)
- ⑥ 参加者 57名(公募)



#### (2) 海外拠点ネットワークの形成

SDGs 達成への取り組みを通じて、目標 5 (ジェンダー平等及び女性・少女のエンパワーメント)を主とした海外拠点ネットワーク形成を目指し情報共有を図るため、フォーラムの活動内容をホームページで紹介した。また、新たな情報発信ツールとして昨年度末に開設した Twitter と Instagram の運営を開始した。

#### (3) 海外派遣

令和4年3月にニューヨークで開催された第66回国連女性の地位委員会(CSW66)については、コロナ禍のため国連から事前の参加登録・参加資格付与の義務がなくなったため、関係者への参加案内に留まった。なお、本会合は、対面とオンラインのハイブリット形式で行われた。

# 3 情報収集・発信事業

情報誌『Asian Breeze』の発行、ホームページ、Facebook、Twitter や海外通信員などを活用しながら、アジア地域の女性に関する情報収集・発信やフォーラムの活動についての情報発信を行った。

#### (1) 情報誌『Asian Breeze』等の発行

主にアジア・太平洋諸国の女性に関する情報やフォーラムの活動を広く国内外に情報発信し、ジェンダー問題に対する理解の浸透を図っていくため、情報誌『Asian Breeze』(日本語・英語版)を発行した。

また、KFAW の年間事業報告書『令和 2 (2020) 年度 年報』を発行した。

- ア 情報誌『Asian Breeze』の発行
  - (ア) 発行部数·発行回数·時期

第 90 号 令和 3 年 8 月 (日本語版 1,500 部、英語版 500 部)

第91号 令和4年2月(日本語版1,500部、英語版500部)

(イ) 送付先 市内公共施設のほか、国内・海外女性関連団体及び研究機関、在外公館、 国連機関、国際関係団体など

#### イ 年間事業報告書の発行

KFAW の年間事業報告書『令和 2 (2020) 年度 年報』を発行した。

- (ア) 発行部数 300部
- (イ) 発行時期 令和3年8月
- ウ ホームページ、Facebook、Twitter アクセス件数 596,351件

(内訳) ホームページ(日/英) 191,146件

Facebook (日 / 英) 395,436 件

Twitter (日 / 英) 9,769 件

#### (2) 海外通信員事業

アジア・太平洋諸国を中心とした海外における女性の状況について情報収集を行うため、アジア・太平洋諸国在住者を中心に海外通信員を公募し、現地の最新情報をリポートした。通信員から提出されたリポートは、『Asian Breeze』やホームページ、Facebook などに掲載した。

(ア) 人数 3カ国3名 (バングラデシュ、フィリピン、インド)

(イ) 任期 令和3年7月~令和4年3月

(ウ) リポート回数等 レポート:1回

国際会議での発表:1回(アジア女性会議)

# 4 国際研修事業

#### (1) JICA 研修 行政官のためのジェンダー主流化政策 2021

開発途上国における女性・少女のエンパワーメントやジェンダー平等の実現に向けたジェンダー主流化の政策立案、推進が可能な行政官を育成する国際研修を独立行政法人国際協力機構九州センター(JICA 九州)から2回受託し、オンラインで「行政官のためのジェンダー主流化政策」研修を実施した。また要望を受け、ブータン国内の女性や子どもの保護とケアの担当保護官向けの「ブータン・女性と子どもの保護とケア(A)」研修もオンラインで1回実施した。

#### ア 研修概要

<行政官のためのジェンダー主流化政策 2021 (A)>

- (イ) 場所 オンライン
- (ウ) 研修員 5 カ国 7 名(モルドバ、パレスチナ、パプアニューギニア、エジプト、ソロモン) <行政官のためのジェンダー主流化政策 2021 (B) >
- (ア) 期間 令和3年11月9日(火)~12月6日(月)
- (イ) 場所 オンライン
- (ウ) 研修員 3カ国6名 (マラウィ、ブータン、カンボジア)

<ブータン国別研修・女性と子どもの保護とケア (A)>

- (ア) 期間 令和 4 年 1 月 14 日 (金) ~ 2 月 11 日 (金)
- (イ) 場所 オンライン
- (ウ) 研修員 全国 24 県・市のジェンダー・子ども・フォーカルポイント(女性と子どもの保護とケアを担当する保護官)と CSO や NGO 担当者および警察官 32 名



#### イ 市民交流会の開催

市民である北九州市立大学法学部政策科学科学生と市民交流会を開催し、学生による発表と研修員との意見交換を 2 回実施した。

<行政官のためのジェンダー主流化政策 2021 (A)>

- (ア) 日時 令和3年6月5日(土)16:00~17:30
- (イ) 場所 オンライン
- (ウ) 参加者 23名

<行政官のためのジェンダー主流化政策 2021 (B)>

- (ア) 日時 令和3年12月3日(金)15:00~16:30
- (イ) 場所 オンライン
- (ウ) 参加者 17名

# 5 その他

#### 大学生・高校生による体験学習等の受入

ア 福岡県立小倉高等学校 (オンライン校外学習)

時期:令和3年9月14日(火)9:00~12:00

参加者:小倉高等学校第1学年 生徒31名

内容:SDGsとジェンダー平等、フォーラム、ムーブの取組み

イ 青山学院大学「地域実習」

時期:令和3年11月4日(木)~7日(日)

参加者:青山学院大学コミュニティ人間学部3年生 2名

他オンライン参加1名

指導者:青山学院大学地域実習担当教官

大島まな(九州女子大学人間科学部教授)

内 容:フォーラム・ムーブの事業と実習

ウ 奈良県立国際高等学校スタディツアー (ムーブ来所)

時期: 令和4年1月11日(火) 12:30~16:00

参加者:奈良県立国際高等学校第2学年

「グローバルが生み出す力」をテーマに探求している生徒27名

内 容:女性のエンパワーメントと男女共同参画の現状や課題について

#### 企業等への講師派遣

ア 株式会社高田工業所幹部職員研修

時 期:令和4年3月29日(火)15:45~17:00

参加者:幹部職員 51名

講 師:(公財) アジア女性交流・研究フォーラム専務理事 江副春之

(北九州市男女共同参画センター所長)

内 容:ジェンダー問題研修

# 公益目的事業Ⅱ



#### 男女共同参画に関する事業を通じて男女共同参画社会の形成を推進する事業

#### 【概況】

アジア女性交流・研究フォーラムは、平成 18 年度から北九州市立男女共同参画センター・ムーブの管理運営等を指定管理者として行っている。

令和3年度の事業実施に当たっては、これまで北九州市立男女共同参画センターの管理運営で培った経験や地域との関係を踏まえ、男女共同参画社会の推進を担う拠点施設として各種事業を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応として、令和3年5月12日から6月20日、8月10日から9月30日まで臨時休館することとなったが、開館時は感染防止策を充分とったうえで各種事業を行った。

## 1 指定管理事業

#### (1) 男女共同参画センター管理運営業務

男女共同参画社会の形成に向けて各種男女共同参画事業等を実施するとともに、相談事業、情報 事業、施設管理業務を行った。

また、KFAW で開発したキャリア形成プログラムを、KFAW の成果を活かして、平成 28 年度 からムーブで実施している。

ア 男女共同参画事業 (9事業、参加延人数1,419名)

(ア) 男女共同参画講座(4事業、参加延人数1.152名)

男女共同参画に関する講座、講演会、シンポジウムを開催し、ジェンダーをめぐる諸問題について啓発を行い、取り組みを促進した。

- ① 男女共同参画啓発講座
  - (a) 「エンパワーメントの旅~わたしの仕事と子育て~」【オンライン形式】 講師:大崎麻子 (元国連開発計画 (UNDP) 職員/ジェンダー・スペシャリスト)
  - (b) ムーブ映画祭~人生の主人公は自分自身!~ 映画『サニー 永遠の仲間たち』 上映会&小倉昭和館館主 樋口智巳さんによるトーク会
  - 上映会を小倉昭和館館主 樋口智巳さんによるトーク会
  - 「中島俊介先生の心理学講座~人権文化は多様性と対話の理解から~」

講師:中島俊介(西南女学院大学 教授・北九州市立大学名誉教授)

(d) 出前講座 (八幡東生涯学習センター尾倉分館)

(c) 出前講座 (門司生涯学習センター大里分館)

「自分らしさを磨く 心も伝わる声と話し方~より豊かなコミュニケーションのために~」

講師:藤重知子(ボイスエアー代表、声と話し方コンサルタント) ほか

② おとこのライフセミナー

「生きる力 - ワーク・ライフ・バランスと働き方改革 - 」

講師:笠井信輔(フリーキャスター、元フジテレビ『とくダネ!』メインアシスタント)

③ 高校生向け男女共同参画意識の啓発

「考えよう、あなたの未来 ~働き方、暮らし方~」(KFAW 共催事業・再掲)

第1部「働き方、暮らし方」を考える課題研究発表

発表者:砂川史佳(福岡県立東筑高校3年)

第2部「大切にしよう、自分のこと。」

講師:黒瀬まり子(臨床心理士)

- ④ 語学講座(英会話)
- (4) 生活技術講座(5事業、参加延人数267名)

男女の性別役割分担意識にとらわれずに、生活面でのあらゆる分野で学習、研究することにより、その技術の習得を図った。

- ① 男性向け講座(エプロン男子、父と子の食育講座、介護男子)、おとこの魅力アップシリーズ(育児男子、時短料理男子、出前講座「メンズご飯!」、出前講座「男のたしなみ~コーヒー編~」ほか)
- ② 親子木工教室
- イ 女性のエンパワーメント事業 (10事業、参加延人数 3.780 名)

女性の継続的な就業やキャリアアップのための支援を行うとともに、企業、地域等様々な分野での意思決定過程への女性の参画を進めるため、指導的な地位へ成長していく層の育成支援を行った。

- (ア) 働く女性のためのフォローアップ・ネットワーク形成
  - ① 働く女性のためのフォローアップセミナー
    - (a) 「女性のエンパワーメント〜多文化共生の視点から〜」(KFAW との共同実施・再掲) 講師:ユキ・近藤・シャー(在福岡米国領事館広報担当領事兼福岡アメリカン・センター館長)

甲木正子(西日本新聞社 執行役員 北九州本社代表 兼 営業部長)

(b) 「相手の心をつかむ言葉の力。」

講師: ひきたよしあき (博報堂スピーチライター・コラムニスト・コミュニケーション コンサルタント)

② ムーブカフェ

実施回数:2回

講師:初村清香(西部ガスホールディングス株式会社 人財戦略部キャリア開発マネジャー)

重松由貴子(福岡銀行北九州市庁内支店長)

(イ) 働く女性に贈る!お役立ちワンポイントセミナー



(ウ) キャリア形成プログラム (再掲)

① 九州国際大学

実施回数:5回【うちオンラインによる登壇2回】

講師:大島まな(九州女子大学・九州女子短期大学地域教育実践研究センター所長)

仙波亮一(京都橘大学経営学部准教授)

山脇直祐 (日本経済大学経済学部経済学科講師)

② 九州女子大学

実施回数:1回

講師:湯淺墾道(明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授)

③ 九州共立大学

実施回数:2回【オンデマンドによる講義】

講師:松本幸一(九州国際大学法学部教授)

山脇直祐 (日本経済大学経済学部経済学科講師)

④ 西南女学院大学

実施回数: - 回

(※新型コロナウイルス感染症対策による休講に伴い日程の確保が難しいため中止)

- (エ) 資格取得講座 (介護事務講座、医療事務講座など)
- (オ) パソコン講座 ほか
- ウ 生涯を通じた女性の健康支援事業(4事業、参加延人数3,646名)

女性の多様な活動を支えるために、心と身体の健康を家庭や職場など日常生活の中で、維持増進できるように、技術と知識の習得の機会を提供する「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」に関する講座等を開催した。

(ア) リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座

「ジェンダーから考える男子の性教育~相手を尊重する意識を育もう!~」

講師:龍崎 翼 (開成中学校・高等学校、海城中学高等学校 家庭科講師)

- (イ) 健康講座
  - ① 心も身体もリフレッシュ!シェイプアップヨガ
  - ② 冷えにさよなら!リラックスヨガ
- (ウ) いまどきママのリフレッシュ講座
- (エ) フィットネスルームの個人利用

エ 市民活動支援・連携事業(3事業、参加延人数421名)

さまざまな活動を行っている団体やグループの情報交換、交流を促進し、ネットワーク化を図ることによって、男女共同参画センターを利用する個人、団体、グループが相互に新たな発見をし、男女共同参画社会の形成を目指すための自主的・創造的な活動ができるよう支援・連携して事業を展開した。

- (ア) ムーブ学生活動プロジェクト(北九州市立大学地域創生学群 ESD プロモート実習)
- (イ) ムーブサポーター事業
- (ウ) 人権を考える企業のつどい

※新型コロナウイルス感染症対策のため、ファミリークリスマス in 北九州は中止

#### オ ムーブフェスタ 2021

全体のテーマが「翔ぶ」、キャッチコピーは「新たな世界へ翔びだそう」とし、市民の自主的な研究・実践活動を積極的に支援する市民企画事業を中心に、講演会、イベント等の事業を行った。

期間 令和 3 年 7 月 3 日 (土)  $\sim$  24 日 (土) 参加延人数 29,088 人 (うち男性 7,269 人)

- (ア) 主催事業 (5 事業)
  - ① オープニングイベント 講演会

「自分らしさとは何か~自然体で生きるということ~」

講師:近藤サト(フリーアナウンサー、日本大学芸術学部特任教授)

② イベントステージ

「アジアの風を感じて~馬頭琴・二胡・筝コンサート」

モンゴルの馬頭琴、中国の二胡、日本の筝などアジアの伝統的な楽器の音色に親し むコンサート

- ③ 行列のできる!?法律相談Q&A
- ④ 第23回ジェンダー問題調査・研究報告会 ※講師の都合により中止
- ⑤ マガジンリサイクル

#### (イ) 市民企画事業

総事業数 89事業

(イベント 54 事業、サマーカーニバル 10 事業、フリーマーケット 25 事業)



#### カー相談事業

心の問題や生き方、性別による人権侵害、就労や法律に関する相談等について、相談室相談員をはじめ臨床心理士、キャリアコンサルタント、弁護士がジェンダーの視点に立って相談に応じた。また、離婚に関する男女の法律基礎講座、内閣府の「女性に対する暴力をなくす運動」に連動した特別講座、福岡県弁護士会北九州部会との共催によるホットライン事業等を実施した。

#### (ア) 相談

こころと生き方の一般相談・性別による人権侵害相談・女性のための元気アップ相談(就労)・男性のための電話相談・女性のための無料法律相談等

区分	電話相談件数	面接・メール相談件数	合	計
こころと生き方 一般相談	3,058 件	23 件 · 2 件	3,083 件	
人権侵害相談	140 件	_	140 件	
コロナ禍電話相談	2 件	_	2件	2 = 40 //
女性の法律相談	16 件	71 件	87 件	3,548 件
女性のための 元気アップ相談	118 件	40 件	158 件	
男性電話相談	78 件	_	78 件	

#### (イ) 講座(4講座、参加延人数61名)

- ① 女性のための離婚に関する法律基礎講座
- ② 男性のための離婚に関する法律基礎講座
- ③ 女性への暴力ゼロ運動特別講座『サバイバーが語る性暴力』
- ④ 女性のためのグループワーク『ストレスケア』

#### (ウ) ホットライン (相談件数 21 件)

福岡県弁護士会北九州部会との共催で弁護士、配偶者暴力相談支援センター相談員が女性の 人権侵害等に関する相談に電話で応じた。

- ・女性の権利ホットライン【内閣府「男女共同参画週間」事業】
- ・女性への暴力ゼロ!ホットライン【内閣府「女性に対する暴力をなくす運動」事業】

#### (エ) その他啓発

- ① パネル展示「ワリかん!?ワリとかんたん!?男と女のいい関係|
- ② パネル展示「大切にしよう、自分のこと」
- ③ 「女性に対する暴力をなくす」運動街頭啓発キャンペーン(小倉駅前広場)

#### キ 情報事業

(ア) 情報収集提供事業

男女共同参画社会の実現に向けて、ジェンダー問題に関する図書や資料等の収集・提供を行うとともに、絵本等の読み聞かせ会を開催した。また、市内等で活動している団体やムーブの施設・講座等の情報をホームページ、Facebook やムーブメール等により提供した。

① 図書・資料等の収集

ジェンダー問題関連の図書を中心に、行政資料、雑誌、児童書、DVD等の収集・提供の充実を図った。

- (a) 蔵書数 (令和 4 年 3 月 31 日現在) 図書 56,621 冊、雑誌 5,125 冊、DVD114 本
- ② 図書・資料等の提供(貸出等)

図書の貸出・返却及び利用者並びに資料の登録・検索、図書統計資料の作成等に関する管理を北九州市立図書館とオンライン化した電算システムで行った。また、北九州市立図書館 共通図書カードにより貸出を行うとともに、北九州市の各図書館との相互貸借も行った。

- (a) 図書情報室利用状況(令和3年4月~令和4年3月31日) 貸出冊数32,214冊、貸出者数11,843人
- (b) 親子を対象に絵本の読み聞かせをする「おはなし会」の開催 ほか
- ③ 男女共同参画関連情報の収集・提供
  - (a) 団体情報 (ムーブネット) の収集提供

男女共同参画社会の実現のために市内及び近郊で活動している団体(グループ)の情報 を情報システム「ムーブネット」により管理・提供した。

· 登録件数

64件(令和4年3月31日)

- ④ その他の情報提供
  - (a) ホームページ・Facebook

ムーブの講座、イベント、図書、貸室などの最新情報を随時更新し、ホームページ等で 提供した。

- ・ホームページ、Facebook アクセス件数(令和 3 年 4 月~令和 4 年 3 月 31 日) ホームページ 222,185 件 Facebook 15,311 件
- (b) ムーブメール (メールマガジン)

ムーブの講座・イベントなどの最新情報を掲載したメールマガジン「ムーブメール」を 月1回配信

・ムーブメール登録者数 376人(令和4年3月31日現在)



#### (イ) 調査研究事業

- ① ジェンダー問題 調査・研究支援事業
  - (a) 令和 3/4 年度ジェンダー問題 調査・研究支援事業

ジェンダー問題を自主的に調査・研究し、その問題解決を図るための糸口を見出そうと取り組んでいる市民グループ・研究者等を支援するために、その調査費の一部(第1年度上限30万円/第2年度上限20万円)を助成。令和3年度は基礎調査(インタビュー調査)を行う支援をした。研究成果として、令和5年2月に調査・研究の結果をまとめた報告書を発行する予定である。

- ・テーマ:「女性管理職のキャリア形成 一皮むけた経験を探る 」
- ·研究者: 徳永彩子 (熊本学園大学 准教授) · 所 吉彦 (岐阜協立大学 教授)
- (b) 第24回ジェンダー問題調査・研究報告会(中止)

令和2年度の支援対象となった研究者がムーブフェスタ期間中に調査・研究の結果を 報告する予定であったが、研究者の都合により中止となった。

- ・テーマ:「女性研究者の研究と育児の両立における葛藤と課題:福岡県内の大学を対象として|
- ② ジェンダーに関する啓発冊子の発行事業
  - (a) 『未来をひらくあなたに』 発行

若者世代に向けた、男女共同参画社会の課題解決について考察する一助となる冊子を発行した。

- · 発行部数 5000 部
- · 体裁等 A5 判
- (b) 『北九州市の男女共同参画統計データ集 2020』のデータの一部をホームページに掲載し、随時更新した。
- ③ 男女共同参画に関する啓発事業

ムーブが発行した啓発冊子の活用と広報をテーマとした講演会や研修会を実施した。

- (a) 講演会「必要とされているあなたの力 ~中高年のあなたに~」(参加人数 54人)
- (b) 講演会「統計データから見る北九州市の男女共同参画
  - ~『北九州市の男女共同参画統計データ集 2020』をもとに~|

(オンライン視聴参加人数 28人)

- (c) 高校生、大学生の体験学習(再掲)
  - ・福岡県立小倉高等学校(オンライン校外学習)

時期:令和3年9月14日(火)9:00~12:00

参加者:小倉高等学校第1学年 生徒31名

内容: SDGs とジェンダー平等、フォーラム、ムーブの取組み

· 青山学院大学「地域実習」

時期:令和3年11月4日(木)~7日(日)

参加者:青山学院大学コミュニティ人間学部3年生 2名

他オンライン参加1名

指導者:青山学院大学地域実習担当教官

大島まな(九州女子大学人間科学部教授)

内 容:フォーラム・ムーブの事業と実習

・奈良県立国際高等学校スタディツアー (ムーブ来所)

時期: 令和4年1月11日(火) 12:30~16:00

参加者:奈良県立国際高等学校第2学年

「グローバルが生み出す力」をテーマに探求している生徒27名

内 容:女性のエンパワーメントと男女共同参画の現状や課題について

#### (ウ) 広報事業

① 情報誌『ムービング』の発行

(a) 発行日 94号 令和3年6月10日

95号 令和3年10月10日

96号 令和 4年 2月 28日

(b) 発行部数 各号 6,500 部

#### ク 施設管理業務

市民が安心して安全に利用でき、さらに利用しやすい施設とするため、環境面や新型コロナウイルス感染症対策にも考慮しつつ計画的かつ効率的な設備の充実・改修を行った。

また、視察の受入れなど、他都市等との連絡調整を行った。

(ア) 施設維持管理業務

安全・安心の観点から、施設・設備の定期的な保守点検や計画的な補修等を行うとともに、 防災研修(消防訓練、AED 操作研修等)などの職員研修を実施した。

また和室や茶室の内装工事(障子張替えや鴨居の補修等)など、施設利用における環境整備 に努めた。

新型コロナウイルス感染症対策としては、受付への飛沫防止シートの設置や1階におけるサーモカメラによる来場者への検温、及び各フロアへの消毒薬の設置などを実施した。

#### (イ) 貸室業務

主催事業で利用しない施設について、市民グループ・企業等に貸出しを行った。(原則有料)

· 令和 3 年度貸室利用人数 70,205 人

≪参考:総利用者数 134,274 人 (うち主催事業参加延人数 64,069 人) ≫



#### (ウ) その他

① 視察受入れ

他都市等からの視察を受入れ、事業説明・意見交換や施設見学を行った。

- · 視察件数1件、延人数6人
- ② 講師派遣

各団体からの依頼に応じ、ハラスメント防止や男女共同参画等について講師を派遣し、講演・研修を実施した。

・派遣件数 15 件、延人数 1,579 人 (うち 3 件 86 人 ハラスメント出前講座)

# 2 自主事業

#### (1) 男女共同参画センター自主事業

- ア 男女共同参画講座(英会話)
- イ 就業支援講座 (医療事務講座、介護事務講座、パソコン講座 等)
- ウ 生活技術講座(夏休み親子木工教室)
- エ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ事業 (シェイプアップヨガ 等)

# 令和3年度 北九州市立男女共同参画センター"ムーブ"利用状況

(令和3年4月1日~令和4年3月31日)

	区分	開所日数	利用日数	利用率			利用人	員 (人)		
室名		(日)	(日)	(%)	主催事業	(男性内数)	貸室利用	(男性内数)	総利用者数	(男性内数)
ホー	-ル	305	113	37.0%	3,673	867	11,714	4,338	15,387	5,205
大セミナ	ールーム	305	176	57.7%	1,125	104	8,005	3,207	9,130	3,311
小セミナ	ールーム	305	186	61.0%	1,293	131	2,758	1,305	4,051	1,436
企画ル	ーム1	305	199	65.2%	461	150	2,627	1,228	3,088	1,378
企画ル	<b>-</b> ム2	305	198	64.9%	38	5	1,480	551	1,518	556
料理	室	305	73	23.9%	352	207	316	55	668	262
和室(茶	室兼備)	305	146	47.9%	46	10	1,300	234	1,346	244
茶室(立	礼形式)	305	47	15.4%	32	2	269	67	301	69
	専用				85	0	327	32	412	32
フィットネスルーム	個人	305	160	52.5%	3,460	432	_	_	3,460	432
	小計				3,545	432	327	32	3,872	464
	専用				179	71	539	132	718	203
工芸室	個人	305	92	30.2%	0	0	_		0	0
	小計				179	71	539	132	718	203
	専用				1,172	142	0	0	1,172	142
OA ルーム	個人	305	135	44.3%	90	21	_	_	90	21
	小計				1,262	163	0	0	1,262	163
グルーフ	プ活動室	305	292	95.7%	23	5	4,295	2,472	4,318	2,477
こども	の部屋	305	115	37.7%	426	138	0	0	426	138
交流	広場	305	298	97.7%	24,145	6,249	36,575	14,433	60,720	20,682
相談	<b>炎室</b>	_	_	_	3,287	822	_	_	3,287	822
図書・	情報室	_	_	_	23,758	12,115		_	23,758	12,115
オンライ	ン受講者	_	_	_	424	40	_	_	424	40
合	計	_	_	_	64,069	21,511	70,205	28,054	134,274	49,565

男性利用率 36.9%

## 講師派遣参加者数・視察受入数

	令和 3 <sup>4</sup> (R3 年 4 月~		令和 2 年度累計 (R2 年 4 月~ R3 年 3 月)		
	件数	人数	件数	人数	
講師派遣参加者数	15 件	1,579 人	11 件	1,172 人	
視察受入数 (国内)	1件	6 人	4件	22 人	
視察受入数 (国外)	0件	0人	0件	0人	
合 計	16 件	1,585 人	15 件	1,194 人	

# 収益事業等



# その他事業Ⅰ:北九州市大手町ビル維持管理事業

#### 【概況】

北九州市大手町ビル(北九州市立男女共同参画センター以外)の施設・設備の保守点検及び修繕による維持管理、並びに光熱水費の管理を行うとともに、北九州市大手町ビルの入居団体との施設の維持管理、防災、環境などに関する連絡、調整を行った。

### その他事業Ⅱ:北九州市立男女共同参画センター等の公益目的以外の貸与事業

#### 【概況】

北九州市立男女共同参画センターにおいて、指定管理事業の一環として、公益目的以外に使用する団体等に施設の貸与を行った。

# 法人事業



#### 法人事業

#### 【概況】

理事会・評議員会の開催や情報システムのセキュリティ対策、個人情報保護、職場における人権 についての職員研修の実施など、公益財団法人として適正な管理運営を行うとともに、フォーラム 賛助会員の加入促進を行った。

# 1 理事会・定時評議員会の開催

理事会を4回(うち2回はみなし決議)及び定時評議員会、臨時評議員会(みなし決議)を開催し、決算等の承認、理事長及び専務の職務執行状況の報告並びに役員の交代等、公益財団法人の運営の根幹となる重要事項の決議等を行った。

第1回理事会 令和3年4月14日みなし決議

第2回理事会 令和3年6月3日開催

第3回理事会 令和3年6月22日みなし決議

第4回理事会 令和4年3月7日開催

臨時評議員会 令和3年4月26日みなし決議

定時評議員会 令和3年6月22日開催

# 2 情報システムのセキュリティ対策及び職員研修の実施

情報システムの管理について、随時セキュリティ対策を行い、ウイルスやハッキングなどを未然 に防止した。また、個人情報保護の職員研修を実施するなど、適正な管理運営に努めた。

# 3 賛助会員加入の促進

多くの方々とのネットワークの拡大や財政基盤の強化を図るため、賛助会員の加入促進に努めました。

【令和3年度実績】会費収入 668,000円

区分	年額(1口)	加入人数	加入口数
個 人	3,000 円	72 名	76 □
団体	20,000 円	21 件	22 🏻
学 生	1,500 円	0名	0 🏻

# 財務諸表

# 貸借対照表内訳表

令和 4 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

323,166,095 323,166,09539,195,408 6,179,678 362,361,503 387,509,399 330,505,815 7,902170,808 1,160,042300,000,000 23,166,095 53,874,405 11,382 329,345,773 670,042 24,123,814 549,940 466,240 25,147,89625,147,896 2,958,371 329,334,391 490,000 387,509,399 57,003,584 盂 đП 内部取引消去 171,394,770 171,581,434 161,583,047 161,583,047 9,811,723 3,089,839 4.808 6,658,740 5,691164,667,195 164,672,886 245.000245,000164,917,886 119,900 66,764186,664 186,664 150,000,000 11,583,047 6,663,548 171,581,434 法人会計 5,111,406 5,111,406 5,111,406 5,111,406 5,111,406 5,111,406 5,111,406 収益事業等会計 29,383,685 3,089,839 164,667,196 915,042 165,587,929 19,849,826 11,583,048 190,966,733 公益目的事業会計 12,104,259 166,000 670,042 245,000 18,892,508 549,940 399,476 150,000,000 161,583,048 161,583,048 210,816,559 164,672,887 210,816,559 7,90219,849,826 2,958,371 45,228,630 (うち基本財産への充当額) (うち特定資産への充当額) うち基本財産への充当額) うち特定資産への充当額 正味財産合計 負債及び正味財産合計 その他固定資産合計 指定正味財産合計 Ш た期預金 投資有価配券 基本財産合計 (2)特定資産 特定資産合計 (3)その他固定資産 指定正味財産 流動資産合計 固定資産合計 一般正味財産 ĮΠ 電話加入権 流動資產 現金預金 固定資産
 (1)基本財産 正味財産の部 市補助金 什器備品 未収金貯蔵品 涶 寄付金 仮払金 負債の部 資産の部 Ħ

(単位:円)

**正味財産増減計算書内訳表** 令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

		公益目的事業会計			収益事業等会計			
南	日本及びアジア地域の 女性の地位向上を図る事業	男女共同参画社会の 形成を推進する事業	小 計	北九州市大手町 ビル維持管理事業	男女共同参画センター 公益目的外貸与事業	小計	法人会計	4 #
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1)経常収益								
基本財産運用益	1,439,883		1,439,883				1,439,883	2,879,766
受取会費	334,000		334,000				334,000	668,000
事業収益	314,751		314,751					314,751
指定管理施設自主事業収益		4,456,472	4,456,472					4,456,472
委託料収益	8,785,757		8,785,757					8,785,757
北九州市委託金収益		168,267,863	168,267,863	37,505,784	60,751,353	98,257,137		266,525,000
受取補助金等	24,848,233		24,848,233				14,151,767	39,000,000
雑収益	166,352	52,200	218,552				1,425	219,977
経常収益計	35,888,976	172,776,535	208,665,511	37,505,784	60,751,353	98,257,137	15,927,075	322,849,723
(2)経常費用								
事業費	29,352,972	178,984,651	208,337,623	37,505,784	60,751,353	98,257,137		306,594,760
管理費	0		0				15,927,075	15,927,075
経常費用計	29,352,972	178,984,651	208,337,623	37,505,784	60,751,353	98,257,137	15,927,075	322,521,835
当期経常増減額	6,536,004	<b>▲</b> 6,208,116	327,888	0	0	0	0	327,888
2. 経常外増減の部								
(1)経常外収益								
経常外収益計								
(2)経常外費用								
経常外費用計								
当期経常外増減額								
当期一般正味財産増減額	6,536,004	<b>▲</b> 6,208,116	327,888	0	0	0	0	327,888
一般正味財産期首残高	9,049,314	20,006,483	29,055,797	0	0	0	9,811,723	38,867,520
一般正味財産期末残高	15,585,318	13,798,367	29,383,685	0	0	0	9,811,723	39,195,408
エ 指定正味財産増減の部								
基本財産運用益	1,439,883		1,439,883				1,439,883	2,879,766
一般正味財産への振替額	1,439,883		1,439,883				1,439,883	2,879,766
当期指定正味財産増減額	0		0				0	0
指定正味財産期首残高	161,583,048		161,583,048				161,583,047	323,166,095
指定正味財産期末残高	161,583,048		161,583,048				161,583,047	323,166,095
Ⅲ 正味財産期末残高	177,168,366	13,798,367	190,966,733	0	0	0	171,394,770	362,361,503

#### 財務諸表に対する注記

令和4年3月31日現在

#### 1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業を行うにあたって、重要な疑義を抱かせるような事象または状況は存在しない。

#### 2. 重要な会計方針

- (1) 「公益法人会計基準」(平成 20 年 4 月 11 日 平成 26 年 10 月 16 日改正内閣府公益認定等委員会)を採用している。
- (2) 有価証券の評価基準および評価方法 満期保有目的の債券・・・取得原価
- (3) 固定資産の減価償却方法 什器備品・・・定率法 無形固定資産・・・定額法
- (4) 消費税の会計処理 消費税の会計処理は税込方式によっている。

#### 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	99,761,382	5,000	99,755,000	11,382
投資有価証券	229,584,391	99,750,000	0	329,334,391
小 計	329,345,773	99,755,000	99,755,000	329,345,773
合 計	329,345,773	99,755,000	99,755,000	329,345,773

#### 4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	11,382	(5,000)	(6,382)	-
投資有価証券	329,334,391	(323,161,095)	(6,173,296)	-
小 計	329,345,773	(323,166,095)	(6,179,678)	_
合 計	329,345,773	(323,166,095)	(6,179,678)	_

#### 5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他の固定資産			
什器備品	9,951,646	9,281,604	670,042
小 計	9,951,646	9,281,604	670,042
合 計	9,951,646	9,281,604	670,042

#### 6. 満期保有目的の債券の内訳並びに取得価額、時価及び評価損益

(単位:円)

科目	取得価額	時 価	評価損益
投資有価証券			
29 神奈川県 20 年債	200,000,000	221,700,000	21,700,000
新潟県25年度第1回公債	20,000,000	20,206,760	206,760
第 61 回利付国債 20 年	9,484,391	9,648,422	164,031
155 共同発行地方債	100,000	100,660	660
48 神奈川県 20 年債	90,000,000	86,769,270	<b>▲</b> 3,230,730
第 71 回利付国債(20 年)	9,750,000	9,412,094	<b>▲</b> 337,906
合 計	329,334,391	347,837,207	18,502,816

#### 7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
補助金 市補助金 受取市補助金	北九州市 北九州市	300,000,000	0 39,000,000	0 39,000,000	300,000,000	指定正味財産 一般正味財産
合 詩	Ħ	300,000,000	39,000,000	39,000,000	300,000,000	

#### 8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産利息(29 神奈川県 20 年債)	2,578,000
基本財産利息(新潟県25年度第1回公債)	130,000
基本財産利息(第61回利付国債20年)	95,500
基本財産利息(155 共同発行地方債)	220
基本財産利息(48 神奈川県 20 年債)	71,020
基本財産利息(大和ネクスト銀行定期預金)	5,026
小 計	2,879,766
合 計	2,879,766

#### 9. 関連当事者との取引の内容

該当なし

#### 10. 重要な後発事象

該当なし

# 資 料

#### 公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラムの歩み

- 1989年8月23日 北九州市の「自ら考え自ら行う地域づくり事業 (ふるさと創生事業)」として「アジア の女性の研究・研修システム (仮称) アジア女性フォーラム」が 101 の案の中から選 定される。
  - 11月1日 アジア女性フォーラム (仮称) の基本構想について検討し、総合的な提言を得るため、 北九州市長の私的諮問機関として、元労働省婦人少年局長高橋久子氏を委員長とする 「アジア女性フォーラム基本構想委員会」が設置される。
  - 12月26日 基本構想委員会が、組織の正式名称を「アジア女性交流・研究フォーラム」とすることを提言し、名称が決定する。
- 1990年 1 月19日 東京ドームで開催された「ふるさと創生展」において、アジア女性交流・研究フォー  $\sim 21$ 日 ラムの目指す事業が、マルチスライドを使って紹介される。
  - 2月11日 北九州市の7区に組織されている「女性会議実行委員会」の主催により、アジア女性 ~3月24日 交流・研究フォーラムの設立気運を盛り上げるため、各区においてシンポジウム・交 流会・展示会・講演会等「アジア女性フォーラム各区イベント」が開催される。
    - 3月30日 基本構想委員会が「アジア女性交流・研究フォーラム基本構想」を北九州市長に提言 する。
    - 3月31日 「'90 アジア国際シンポジウム」(テーマ:アジア・女性・未来~共に考え共に歩もう) を開催する。
  - 6月~9月 第1回アジアセミナーを開催する。(~2000年まで毎年開催)
    - 7月5日 アジア女性交流・研究フォーラムのより具体的な活動について検討するため、北九州市長の私的諮問機関として、「アジア女性交流・研究フォーラム懇談会」が設置される。
    - 7月23日 アジア女性交流・研究フォーラム提言をもとに基本構想が策定される。
    - 10月20日 アジア女性交流・研究フォーラム設立 (理事長 高橋久子)
    - 10月20日 アジア女性交流・研究フォーラムの設立を記念して、伊東すみ子東京高等裁判所判事 を講師として、「国際社会における女性の役割」をテーマに講演会を開催する。
      - 10月 共同研究事業「開発が女性と家族に与える影響」が開始される。
- 1991年3月9日「第1回アジア女性会議―北九州」(テーマ:アジアと女性の今)を開催する。
  - ~ 10日 (以後毎年開催)
    - 3月 情報誌『Asian Breeze』創刊
    - 4月 プロジェクト研究事業が開始される。
    - 5月 海外通信員制度始まる。(以後毎年実施)
  - 12月 1 日 「第 2 回アジア女性会議―北九州」(テーマ:政策決定における女性)を開催する。  $\sim 2$  日
- 1992年3月18日 「第1回女性の地位向上のための行政官セミナー(2002年からは「ジェンダー主流化 ~27日 政策のための行政官セミナー」、2010年からは「行政官のためのジェンダー主流化政 策 | に名称変更) | (JICAの委託事業)を開催する。(以後毎年開催)
  - 7月24日 1993年10月を目標に財団法人化を図るため、基本財産積み立てのための募金活動を 行う募金委員会が理事等の役員を中心に発足し、募金活動を開始する。
  - 11月13日 「第3回アジア女性会議—北九州」(テーマ:環境と開発と女性)を開催する。  $\sim 15$ 日
  - 11月24日 国連婦人開発基金(ユニフェム)の活動を支援するための組織として、ユニフェム日本国内委員会を国際婦人年連絡会および財団法人横浜女性協会とともに設立し、その正会員となる。

- 1993年3月 『アジア女性シリーズ』第1号が発刊される。(中国)
  - 5月 「国際理解のための教材ビデオ」制作事業を開始する。
  - 9月17日 財団法人アジア女性交流・研究フォーラム設立発起人会を開催する。
  - 9月22日 労働省より、財団法人としての設立を許可される。
  - 10月1日 財団法人アジア女性交流・研究フォーラム設立 (理事長 高橋久子)
  - 11月19日 「第4回アジア女性会議—北九州」(テーマ:地球の未来と人口)を開催する。  $\sim 21$ 日
- 1994年 2 月 8 日 高橋久子理事長が最高裁判所判事就任のため理事長を辞任する。三隅佳子専務理事が 理事長代行となる。
  - 4月 共同研究事業「アジアの働く女性シリーズ」を開始する。
  - 9月1日 第1回海外通信員セミナーを開催する。

~ 8 ∃

11月18日 「第5回アジア女性会議―北九州」(テーマ:女性と家族)を開催する。

 $\sim 20$ 日

- 1995年4月1日 北九州市から北九州市立女性センターの管理運営業務の委託を受ける。
  - 6月15日 事務所を北九州市大手町ビルに移す。
  - 6月22日 第2代理事長に奥田八二氏が就任する。
  - 7月1日 北九州市立女性センターのオープニングイベントを開催する。

~ 8日

- 9月4日 国連婦人の地位委員会のオブザーバー参加資格を得る。国連第4回世界女性会議にオ  $\sim 11$ 日 ブザーバー参加する。また、NGO フォーラムにも参加し、ワークショップを開催する。
- 11月17日 「第6回アジア女性会議―北九州」(テーマ:女性と労働)を開催する。

~ 19日

- 1996年 2 月16日 「第 1 回環境と開発と女性セミナー」(JICA の委託事業) を開催する (~ 2008 年まで~ 3 月21日 毎年開催)
  - 11月15日 「第7回アジア女性会議—北九州」(テーマ:女性とメディア)を開催する。  $\sim 17$ 日

1997年1月 ホームページを開設する。

- 4月1日 三隅佳子専務理事が理事長代行となる。
- 9月22日 「客員研究員制度」を設置する。
- 11月7日 「第8回アジア女性会議―北九州」(テーマ:女性と教育) を開催する。 ~ 9日
- 1998年3月24日 第3代理事長に高橋久子氏が就任する。
  - 6月 「国際協力カレッジ」を開催する。
  - 10月10日 財団設立5周年記念事業を実施する。
  - 11月7日 「第9回アジア女性会議―北九州」(テーマ:ジェンダーの視点の主流化(メインスト ~ 8日 リーム)をめざして)を開催する。
  - 12月12日 地球市民教育地域セミナーを開催する。

~ 13日

- 1999年4月12日「ジャパン・ソサエティ地方政治・公共政策フェローシップ事業」を実施する。
  - 9月 「フォーラム懇話会」を実施する。
  - 10月17日 「女性起業家支援塾」(北九州市立女性センターの委託事業)を開催する。

~ 31 ∃

- 11月6日 「第10回アジア女性会議―北九州」(テーマ:男女共同参画の世紀を拓く〜女性2000 ~ 7日 年会議とその後〜)を開催する。
- 2000年1月9日 「女性起業家スタディツアー」(アメリカ サンフランシスコ) を実施する。

 $\sim 15$ 日

- 6月5日 国連特別総会「女性 2000 年会議—21 世紀に向けての男女平等・開発・平和」にオブ ~ 9日 ザーバーとして参加する。
- 6月5日 「女性 2000 年会議」に関連した NGO のシンポジウム「北京 + 5 グローバルフェミニ
- ~ 8日 ストシンポジウム (アメリカ ニューヨーク)」に参加する。またワークショップを開催する。
- 9月3日 北九州市で開催された「アジア・太平洋環境大臣会議」の関連事業として「アジア・太平洋環境女性会議(第11回アジア女性会議―北九州)」を開催する。
  - 11月 自治大臣表彰「世界に開かれたまちづくり」を受賞する。
- 12月28日 理事長制から会長制へ移行、その他諸規定についての寄附行為変更が認可される。
- 2001年2月25日 「環境問題を考えるスタディツアー (マレーシア)」を実施する。

~ 3月5日

- 4月1日 原ひろ子氏が初代会長に、第4代理事長に三隅佳子氏が、前理事長の高橋久子氏が顧問に、それぞれ就任する。
- 7月26日 「持続可能な開発に関する世界首脳会議 (WSSD) 北東アジア準備会合及びマルチス ~ 28日 テークホルダー会合 (中国 北京)」に参加する。
- 7月~9月 北九州博覧祭 2001 の関連事業を実施する。
  - ・JICA 研修員による報告「世界から日本へ!日本から未来へ」
  - ・渥美雅子弁護士男女共同参画型講談「山内さんちのパートナーシップ」
  - 9月12日 「第1回北東アジア女性環境会議(韓国 ソウル)」に参加する。

~ 16日

- 10月6日 「第12回アジア女性会議―北九州」(テーマ:自分らしく健康に生きる~ジェンダーを~7日 超えて)を開催する。
- 11月24日 「持続可能な開発に関する世界首脳会議(WSSD)に向けてのハイレベル地域会合及び  $\sim 12$ 月1日 持続可能な開発に関するアジア太平洋ラウンドテーブル(カンボジア プノンペン)」 に参加する。
- 11月28日 「アフガニスタン女性と子どもの写真展」とアフガニスタンセミナー Part1 を開催する。  $\sim 12$ 月 2 日
- 2002年 1 月18日 環境シリーズセミナー「リオ+ 10 ヨハネスブルグ・サミットにむけて世界の準備状況」を開催する。
  - 2月9日 北九州市と東京で「円卓会議:持続可能な開発に関する世界首脳会議(ヨハネスブル ~17日 グ・サミット)に向けて」を開催する。
  - 3月1日 第46回国連女性の地位委員会 (CSW) (アメリカ ニューヨーク) に参加する。  $\sim 10$ 日
  - 3月22日 アフガニスタンセミナー Part2 を開催する。
  - 3月23日「WSSD 第3回準備会合(アメリカ ニューヨーク)」に参加する。

~ 4月5日

3月25日 「環境問題を考えるスタディツアー (中国、韓国)」を実施する。 ~30日

- 4月1日 北九州市立女性センターの名称を北九州市立男女共同参画センターに変更する。
  - 7月 国連経済社会理事会の NGO 協議資格を九州で初めて取得する。
- 7月31日 国際協力事業団 (JICA) 国際協力功労者表彰を受賞する。
- 8月23日 「持続可能な開発に関する世界首脳会議」(ヨハネスブルグ・サミット) に参加(フォー
- ~ 9月5日 ラムの主任研究員は日本政府代表の顧問を務めた)し、各国女性 NGO とワークショップを開催する。
  - 10月12日 日本・中国・韓国・モンゴルからの女性環境活動家が集い、「第2回北東アジア女性環 ~ 14日 境会議(第13回アジア女性会議—北九州)」を北九州市と東京で開催する。
- 2003年3月2日 第47回国連女性の地位委員会 (CSW) (アメリカ ニューヨーク) に参加する。

~ 16日

3月16日 第3回世界水フォーラム(京都、滋賀、大阪)に参加する。

 $\sim 21$ 日

- 5月 「国際協力カレッジ」から名称を変更した「KFAW カレッジ」を開催する。
- 5月17日 北九州市女性史の編纂を行うため北九州市女性史編纂実行委員会の設立に参画する。
- 10月11日 財団設立10周年記念事業を実施した。
  - 12日 「第 14 回アジア女性会議—北九州」(テーマ:女性のエンパワーメントと ICT)を開催 する。
- 2004年2月26日 第48回国連女性の地位委員会(CSW)(アメリカ ニューヨーク)に参加する。

~ 3月13日

- 6月29日 「アジア太平洋 NGO フォーラム」参加スタディツアー(タイ バンコク)を実施する。
- ~ 7月4日
  - 9月7日 国連アジア太平洋経済社会委員会ハイレベル会議(タイ バンコク)に参加する。

~ 10日

- 11月6日 「第15回アジア女性会議—北九州」(テーマ:北京+10に向けて 人間の安性保障と ~ 7日 ジェンダー)を開催する。
- 2005年2月28日 第49回国連女性の地位委員会 (CSW)「北京 + 10」閣僚級会合 (アメリカ ニュー  $\sim 3$ 月6日 ヨーク) に参加する。
  - 11月 5 日 「第 16 回アジア女性会議—北九州」(テーマ:歴史を拓いた女性たち)を開催する。  $\sim 6$  日
  - 12月7日 『北九州市女性の100年史 おんなの軌跡 北九州』を発刊する。
- 2006年1月16日 「インドで考える女性や子どもの人権スタディツアー」を実施する。

 $\sim 23\,\mathrm{H}$ 

- 2月27日 第50回国連女性の地位委員会(CSW)に参加する。
- ~ 3月10日
  - 2月19日 「ノーベル平和賞受賞者 ワンガリ・マータイさんと語る 北九州市民・環境フォーラム 世界の環境首都をめざして」を開催(エコライフステージ実行委員会との共催) する。
  - 4月1日 北九州市立男女共同参画センターの指定管理者となる。
  - 9月28日 北九州 ESD (持続可能な開発のための教育)協議会(44団体)が設立される。
    - 10月 環境省「国連持続可能な開発のための教育の 10 年促進事業」の認定を受けた。
  - 10月15日 『新聞にみる北九州市女性の 100 年史 おんなの軌跡・北九州』を発刊する。

11月11日 北九州市女性史演劇「秋の三色すみれ」を上演する。

~ 12日

- 11月18日 「第17回アジア女性会議―北九州」(テーマ:公正で豊かな未来を創る〜持続可能な開 ~19日 発のための教育とは〜)を開催する。
- 12月5日 国連大学から持続可能な開発のための教育を推進するため、北九州市が「地域の拠点 (RCE)」に認定される(日本で4番目)。
- 2007年2月26日 第51回国連女性の地位委員会(CSW)に参加する。

~ 3月9日

- 3月1日 「アボリジニ女性のエンパワーメントとアートを活かしたまちづくりスタディツアー ~8日 (オーストラリア)」を実施する。
- 4月1日 原ひろ子氏が顧問に、三隅佳子氏が第2代会長に、吉崎邦子氏が第5代理事長に、それぞれ就任する。 北九州 ESD 協議会の事務局となる。
- 10月12日 持続可能な開発のための教育 (ESD) をテーマにスタディーツアー (韓国) を実施す  $\sim 16$ 日 る。
- 11月10日 「第 18 回アジア女性会議—北九州」(テーマ:つながる ひろがる 地球の未来)を開催  $\sim$  11日 する。
- 12月14日 在福岡アメリカ領事館とミャンマー民主化講演会を共催する。
- 2008年2月22日 第52回国連女性の地位委員会(CSW)に参加する。

~ 3月7日

3月10日 海外拠点づくりの第一歩として姉妹都市の韓国・インチョン広域市を訪問する。

~ 12 <del>日</del>

- 4月 KFAW アジア研究者ネットワーク立ち上げの準備をする。
- 5月26日 仁川 YWCA の一行(11名)が来北する。
- 6月25日 韓国・忠清南道女性政策開発院(CWPDI)主催の国際会議に参加・日本の現状を発表 する。
- 9月6日 財団設立15周年記念講演会「アジア・太平洋地域の女性の現状」を実施する。
- 11月15日 CWPDIと日韓国際セミナーを共同で開催する。
- 11月15日 「第 19 回アジア女性会議―北九州」(テーマ:地球を食べる、地球で食べる―あなたは  $\sim 16$ 日 食を通して何を考えますか?)を開催する。
- 2009年2月27日 第53回国連女性の地位委員会 (CSW) に参加し、KFAW 主席研究員がサイドイベン  $\sim 3$ 月6日 トで「東アジアにおけるケアネットワークの必要性」のテーマで意見発表を行う。
  - 3月31日 北九州 ESD 協議会事務局が北九州市環境局に移管される。
  - 4月1日 三隅佳子氏が顧問に就任する。
    - 6月 ジェンダー関連研究者のネットワークのキックオフ(KFAW アジア研究者ネットワーク)。
  - 8月6日 北九州 YMCA とロシア・チェリャビンスク国立大学東洋学科学生一行(7名)との交流プログラムを実施する。
  - 8月10日 在福岡アメリカ領事館と共催でサマーセミナー「ミッシェル・オバマ;アメリカを変革するファーストレディ」を開催する。
  - 9月13日 第2回日韓国際セミナー「大地から食卓へ―ジェンダーの視点で食の安全を考える」を開催する。
  - 9月29日 北九州市・大連市友好協定 30 周年記念チャーター便で、大連市婦女連合会一行がムーブ (KFAW) を訪問する。

- 10月26日 在日シンガポール大使館と共催で国際セミナー「シンガポールの女性はいま」を実施する。
- 11月2日 韓国・忠清南道女性政策開発院(CWPDI)と学術交流協定を締結する。
- 11月28日 「第20回アジア女性会議―北九州」(テーマ:現在(いま)、世界の女性たちは―北九 ~29日 州から世界を視(み)る―)を開催する。
- 2010年 2 月26日 第 54 回国連女性の地位委員会 (CSW) に参加する。
  - ~ 3月7日
    - 3月1日 第54回国連女性の地位委員会 (CSW) パラレルイベントにて、韓国・忠清南道女性 政策開発院 (CWPDI) と共同セミナー「女性のエンパワーメントに向けた取組みと課題~日本と韓国の経験から」を開催する。
    - 6月1日 韓国・忠清南道女性政策開発院 (CWPDI) と共同で、2010 CWPDI 開院 11 周年韓日 共同セミナー (第3回日韓共同セミナー) 「韓日女性の地域における政治参加の拡大政 策」を韓国で開催する。
    - 7月30日 中国・大連市婦女連合会を訪問。今後の交流について協議する。
      - 7月 大連市婦女連合会から「北九州市男女共同参画センター設立 15 周年」を祝すメッセージが届く。
      - 10月 東アジア学会 20 周年記念大会にて、賛助会員として表彰される。
    - 11月13日 「第 21 回アジア女性会議—北九州」(テーマ:世界の子育で—子ども・親・社会のカタ  $\sim 14$ 日 チ—)を開催する。
- 2011年1月22日 北九州市立大学と共催で、国際シンポジウム「国際結婚と多文化共生」を開催する。
  - 1月~2月 KFAW デート DV 予防教育ファシリテーター養成講座を開催する。(全4回)
  - 2月26日 第55回国連女性の地位委員会 (CSW) に参加し、サイドイベント「日本において農
  - ~ 3月3日 林漁業に従事する女性たちのエンパワーメント」において、主席研究員がパネリスト として発表する。
    - 4月1日 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ、北九州市立東部勤労婦人センター、北九 州市立西部勤労婦人センターの指定管理者となる。
      - 8月 市内高校、大学等の約 5,000 人を対象に、デート DV 予防教室講師派遣事業を実施する。(~2012 年 3 月)
    - 8月31日 学術交流協定締結機関 韓国・忠清南道女性政策開発院(CWPDI)を訪問する。
    - 9月1日 韓国・仁川発展研究院を訪問し、交流協力協定を締結する。
    - 11月26日 「第 22 回アジア女性会議―北九州」(テーマ:災害と向き合う―東日本大震災から学ぶ)  $\sim 27$ 日 を開催する。
    - 11月27日 KFAW 日韓共同研究報告会(第 4 回日韓セミナー)「子育て支援ネットワーク―日韓比較 | を開催する。
      - 12月 女子学生のためのキャリア形成プログラムの作成に着手する。
- 2012年2月26日 第56回国連女性の地位委員会 (CSW) に参加し、パラレルイベント「日本の農村女 ~ 3月4日 性のエンパワーメント―経済のグローバル化と東日本大震災の影響下で」を開催し、主席研究員他が報告する。
  - 11月10日 「第23回アジア女性会議―北九州」(テーマ:力を合わせよう―女性、女児への暴力をなくすために)を開催する。
  - 12月8日 第23回 KFAW 研究員報告会を開催する。

- 2013年2月2日 ワールドリポート (第5回日韓セミナー) 「日韓米の多文化共生」を開催する。
  - 3月2日 第57回国連女性の地位委員会 (CSW) に参加し、パラレルイベント「アジア女性交  $\sim 8$ 日 流・研究フォーラムのデート DV/DV 防止に向けた取り組み」を開催する。
  - 4月1日 **公益財団法人に移行** 第6代理事長に堀内光子氏が就任する。
  - 8月10日 DV 防止講演会/デート DV 予防教育ファシリテーター・フォローアップ講座を実施する。
  - 9月~10月 女子学生のためのキャリア形成プログラムを市内大学3校で試験的に実施する。
    - 11月9日 財団設立20周年記念事業として、「第24回アジア女性会議―北九州」(テーマ:女性の活躍が日本、世界を変える)を開催する。
    - 11月10日 財団設立 20 周年記念事業として、北九州市・仁川広域市女性団体文化交流会を開催する。
- 2014年2月2日 第24回 KFAW 研究員報告会を開催する。
  - 2月23日 KFAW スタディツアー「フィリピンで学ぶ国際協力」を実施する。
  - ~ 3月2日
    - 4月11日 第58回国際女性の地位委員会(CSW)帰国報告会を開催する。
  - 5月~12月 女子学生のためのキャリア形成プログラムを市内大学5校で実施する。
    - 8月10日 DV 防止講演会/デート DV 予防教育ファシリテーター・フォローアップ講座を実施する。
    - 10月20日 仁川広域市を訪問し、ジェンダー関連組織・施設への訪問や女性団体主催セミナー及 ~ 22日 び交流会に参加する。
    - 12月3日 ニューヨーク国連本部経済社会局統計部に協力して、国連ジェンダー統計専門家会合 ~ 5日 を開催する。
  - 12月6日 「第25回アジア女性会議―北九州」(テーマ:女性の働き方としての起業)を開催する。
- 2015年1月22日 海外通信員を招へいして、ワールドリポート「いま、アジアの女性たちは〜海外通信 ~ 25日 員を囲んでアジアを知ろう」を開催するとともに、市内の小学生と大学生を対象とし た国際交流プログラムを実施する。
  - 2月7日 第25回 KFAW 研究報告会を開催する。
  - 2月23日 KFAW スタディツアー「フィリピンで学ぶ国際協力」を実施する。
  - ~ 3月4日
    - 5月15日 第59回国連女性の地位委員会 (CSW) 帰国報告会を開催する。
  - 6月~12月 キャリア形成プログラムを市内大学4校及び市内高校1校で実施する。
    - 6月12日 第 26 回 KFAW 研究報告会を開催する。
    - 9月5日 KFAW スタディツアー「ベトナムとカンボジアで学ぶ国際協力」を実施する。  $\sim 12$ 日
    - 9月19日 DV 防止講演会/デート DV 予防教育ファシリテーター・フォローアップ講座を実施する。
      - 10月 「市内製造業の女性活躍推進に関する調査 | を実施する。
  - ~ 2016年3月
    - 10月31日 「第26回アジア女性会議―北九州」(テーマ:女性の活躍推進に向けて~アジアと連携して)を開催する。
    - 11月1日 ハノイ女性連盟と北九州市の女性団体との交流会を実施する。
- 2016年1月23日 ワールドリポート「いま、世界の女性たちは~世界の行政官を囲んで~」を開催する。
  - 2月14日 第27回 KFAW 研究報告会を開催する。

- 5月19日 第60回国連女性の地位委員会(CSW60)帰国報告会を開催する。
- 7月8日 WWAS 国際会議フォローアップ会議 北九州タウンミーティング(テーマ:高齢化する社会と地域における女性の活躍)を開催する。
- 9月6日 ハノイ女性連盟との共同企画「ハノイスタディツアー 2016」を実施する。  $\sim 10$ 日
- 9月~11月 高校生向けキャリア形成プログラムを自由ヶ丘高校及び八幡西生涯学習総合センターで実施する。
  - 11月26日 「第27回アジア女性会議—北九州」(テーマ: "誰一人取り残さない"世界の実現~SDGs(持続可能な開発目標)の達成のために何ができるか)を開催する。
  - 12月14日 「KFAW 仙台スタディツアー 2016」を実施する。  $\sim 16$ 日
- 2017年2月25日 ワールドリポートセミナー「女性と災害」を開催する。
  - 3月28日 第28回 KFAW 研究報告会を開催する。
  - 5月15日 「2017 年 GSW ポストカンファレンス in 北九州〜明日のキャリアを見つけよう!〜」 を開催する。
  - 6月23日 第61回国連女性の地位委員会帰国報告会(CSW61)を開催する。
  - 7月~9月 高校生向けキャリア形成プログラムを自由ヶ丘高校及び北九州市立ユースステーションで実施する。
    - 11月25日 「第28回アジア女性会議-北九州」(テーマ:あなたの老後、だれが看るの?~高齢者の介護をジェンダーと外国人の受け入れの視点で考えます~)を開催する。
- 2018年 1 月17日 「KFAW 台湾スタディツアー 2017」を実施する。

~ 20日

- 3月25日 第29回 KFAW 研究報告会を開催する。
- 6月14日 第62回国連女性の地位委員会 (CSW62) 帰国報告会を開催する。
- 8月~9月 高校生向けキャリア形成プログラムを自由ヶ丘高校及び北九州市立ユースステーションで実施する。
  - 10月4日 ワールドリポートセミナー 国連女子差別撤廃委員会 パトリシア・シュルツ委員講演会「女子差別撤廃条約のより深い理解のために」を開催する。
  - 11月17日 「第 29 回アジア女性会議 北九州」(テーマ:オリンピック・パラリンピックとジェンダー)を開催する。
  - 12月11日 「KFAW タイ・スタディツアー 2018」を実施する。  $\sim 16$ 日
- 2019年 3 月24日 第 30 回 KFAW 研究報告会を開催する。
  - 6月13日 第63回国連女性の地位委員会(CSW63)帰国報告会を開催する。
  - 7月~8月 高校生向けキャリア形成プログラムを自由ヶ丘高校及び北九州市立ユースステーションで実施する。
    - 10月19日 第 30 回アジア女性会議 北九州」(テーマ: みんなでつくろう、未来〜北京女性会議から 25 年を控えて〜)を開催する。
- 2020年1月18日 国際理解セミナー「アジアで最も男女平等が進む国・フィリピン講演会」を開催する。
  - 2月9日 国際理解セミナー「のびのび communication  $\sim$ 国とジェンダーをこえて $\sim$ 」)を開催する。

- 10月8日 第31回アジア女性会議-北九州」(テーマ:気候変動とジェンダー)を開催する。
- 11月14日 令和2年度第1回アジアジェンダー研究者ネットワークセミナー(テーマ:女子差別 撤廃条約とSDGs - ジェンダー格差先進国最下位から脱却するために - )を開催する。
- 12月6日 第31回 KFAW 研究報告会を開催する。(3月開催を予定していた分の延期開催)
- 2021年3月16日 第32回 KFAW 研究報告会を開催する。
  - 3月21日 第65回国連女性の地位委員会 (CSW65) NGO フォーラム パラレルイベント (テーマ: Youth talk: climate action and gender (若者による討論: 気候変動アクションと ジェンダー)) を開催する。
    - 3月 Twitter、Instagram アカウント開設
  - 6月16日 第65回国連女性の地位委員会(CSW65)報告会を開催する。
  - 8月8日 高校生向けキャリア形成プログラム「高校生向けジェンダー講座」を実施する。
  - 9月4日 国際理解セミナー 「領事館セミナー×女性のエンパワーメント~多文化共生の視点から~」を開催する。
  - 10月2日 第 33 回 KFAW 研究報告会を開催する。
  - 11月5日 「第 32 回アジア女性会議 北九州」(テーマ:ICT と女性~情報化時代における女性のエンパワーメント~)を開催する。
- 2022年3月12日 第34回 KFAW 研究報告会を開催する。
  - 3月17日 第 66 回国連女性の地位委員会 (CSW66) NGO フォーラムパラレルイベント: (テーマ: Youth talk: action for climate justice, disaster prevention & gender equality (若者による討論:気候正義、防災、そしてジェンダー平等への行動)) を開催する。

# 刊行物一覧

# (1) 出版物

# アジア女性研究

アジア女性研究	創刊号	アジアにおける開発と女性	1,000円 (品切れ)
アジア女性研究	第2号	環境・開発・女性	1,000 円
アジア女性研究	第3号	A 地球の未来と人口問題 B アジアの女性と人口問題	1,000 円
アジア女性研究	第4号	女性と家族	1,000 円
アジア女性研究	第5号	女性と労働	1,000 円
アジア女性研究	第6号	女性とメディア	1,000 円
アジア女性研究	第7号	女性と教育	1,000 円
アジア女性研究	第8号	ジェンダーの視点の主流化をめざして	1,000 円
アジア女性研究	第9号	男女共同参画の世紀を拓く	1,000 円
アジア女性研究	第 10 号	ジェンダー主流化に向けて	1,000円 (品切れ)
アジア女性研究	第 11 号	ジェンダーと健康	1,000円 (品切れ)
アジア女性研究	第 12 号	持続可能な開発―ジェンダーの視点から	1,000円 (品切れ)
アジア女性研究	第 13 号	ICT とジェンダー	1,000 円
アジア女性研究	第 14 号	人間の安全保障とジェンダー	1,000 円
アジア女性研究	第 15 号	グローバル化とジェンダー	1,000 円
アジア女性研究	第 16 号	ジェンダーと政治(ポリティクス)	1,000 円
アジア女性研究	第 17 号	福祉とジェンダー	1,000 円
アジア女性研究	第 18 号	科学とジェンダー	1,000 円
アジア女性研究	第 19 号		*
アジア女性研究	別冊	アジア女性学の動向	200 円
アジア女性研究	第 20 号		*
アジア女性研究	第 21 号		*
アジア女性研究	第 22 号		*
アジア女性研究	第 23 号		*
アジア女性研究	第 24 号		*
アジア女性研究	第 25 号		※ (品切れ)
アジア女性研究	第 26 号		*
アジア女性研究	第 27 号		*
アジア女性研究	第 28 号		*
アジア女性研究	第 29 号		*
アジア女性研究	第 30 号		*
アジア女性研究	第 31 号		*

※配布、ホームページからダウンロード

# KFAW 調査研究報告書

No.2010-1	インド、ケーララ州の女子教育とジェンダー平等―現状と課題―	*
No.2010-2	日本の犯罪報道における女性 全国紙・地方紙の場合	*
No.2010-3	外国籍女性とその子ども達の社会包摂 一福岡県のフィリピン人およびタイ人女性の 多文化共生—	*
No.2011-1	Women's Empowerment through Collective Actions: The Case of Makth Federation in Andhra Pradesh, India [女性のエンパワーメントのための題解決型アプローチ—インド、アンドラ・プラデシュ州、マクタール女性連を事例として—]	al 問 盟
	Federations as Collective Actions of <i>Sanghams</i> : The Case of Makthal Andhra Pradesh	in

No.2012-1	ジェンダー主流化に向けたアクションとアウトカム —JICA 集団研修「ジェンダー主流化」フォローアップ調査をもとに—	*
	Promoting Gender Mainstreaming around the World: Results of a Follow-up Survey on the JICA Training Course on Gender Mainstreaming	*
No.2012-2	農村女性起業家の事業継続を支援するための調査・分析・ネットワーク開発に 関する研究	*
No.2012-3	アジア地域における移行経済国から日本への女性の結婚移住 一インドシナ難民家族と滞日中国人家族における移民女性の事例から―	*
No.2013-1	津波被災地の復興における女性の役割 一インドネシアのアチェ州と東北地方の比較を通して一	*
No.2013-2	現代台湾における子育てをめぐる言説の諸相とジェンダー	*
No.2014-1	夫婦間の性別役割分業はなぜ変わらないのか 一既婚女性へのインタビュー調査から探る—	*
No.2014-2	グローバリゼーションに対する認識と英語力 一日本人女性と韓国人女性との比較—	*
No.2015-1	地域における女性団体の活動に関する研究 一北九州市の女性団体を中心に一	*
No.2015-2	移住によって潜在能力は発揮できるか? 一ジェンダーの視点で見た滞日ネパール人の特徴—	*
No.2015-3	台湾・マレーシアにおける女性に対する暴力被害者支援の研究	*
No.2016-1	第1回 WWAS 国際会議フォローアップ会議 北九州タウンミーティング 「高齢化する社会と地域における女性の活躍」報告書	*
No.2017-1	アジアにおける性的マイノリティの人権と市民社会 一台湾、シンガポール、日本の比較研究を中心に一	*
No.2017-2	日本における外国人ケア労働者の受け入れと育成をめぐる現状と課題: ジェンダーの視点からの分析	*
No.2018-1	テレワークによる「女性活躍」についての研究	*
No.2018-2	日中における幼児教育とジェンダー ―「教育家族」の中の父親役割―	*
No.2018-3	持続可能な開発目標(SDGs)におけるジェンダー視点の主流化に関する研究: 日本と諸外国の自発的国家レビューの比較	*
No.2019-1	地方議会の女性議員増加をめざして 一日・台統一地方選挙時の比較調査から—	*
No.2019-2	女性視点のキャリア形成促進に向けた研究 一福岡県と鹿児島県におけるインタビュー調査を基礎として一	*
No.2019-3	DV 被害を受けた母親と子どもへの支援に関する実証的研究 一日本とシンガポールの実践を通して	*
No.2020-1	国際家族年前後の家族をめぐる論点の整理 一国際比較のための基礎的研究—	*
No.2020-2	地方自治体におけるパートナーシップ制度の現状と課題	*
No.2021-1	離婚過程の女性が抱える課題と支援 ―シングルマザー・プレシングルマザーのインタビュー調査から	*

※配布、ホームページからダウンロード

# Journal of Asian Women's Studies

Journal of Asian Women's Studies Vol. 1	Women in Development in Asia	800 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 2	Environment, Development and Women	1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 3	Population and Our Earth's Future Women's Reproductive Rights and Population Problems in Asia	1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 4	Women and Family	1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 5		1,000円 (品切れ)
Journal of Asian Women's Studies Vol. 6 &	& 7	1,500円 (品切れ)
Journal of Asian Women's Studies Vol. 8		1,000 円

Journal of Asian Women's Studies Vol. 9		1,000円(品切れ)
Journal of Asian Women's Studies Vol. 10	Women / Gender and Globalization	1,000円(品切れ)
Journal of Asian Women's Studies Vol. 11	Participation and Good Governance: Environmental Issues from a Gender Perspective	1,000円 (品切れ)
Journal of Asian Women's Studies Vol. 12	Cairo+10: Reviewing Reproductive Health and Rights	1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 13	ICT and Gender	1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 14		1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 15		1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 16		1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 17	Welfare and Gender	1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 18	E-journal	*
Journal of Asian Women's Studies Vol. 19	E-journal	*
Journal of Asian Women's Studies Vol. 20	E-journal	*
Journal of Asian Women's Studies Vol. 21	E-journal	*
Journal of Asian Women's Studies Vol. 22	E-journal	*
Journal of Asian Women's Studies Vol. 23	E-journal	*
Journal of Asian Women's Studies Vol. 24	E-journal	*
Journal of Asian Women's Studies Vol. 25	E-journal	*
Journal of Asian Women's Studies Vol. 26	E-journal	*
Journal of Asian Women's Studies Vol. 27	E-journal	*
Journal of Asian Women's Studies Vol. 28	E-journal	*
※ホームページからダウンロード		

#### ※ホームページからダウンロード

# 環境シリーズ

アジアにおける環境と女性―実践実例集―	500 円
地球温暖化対策の未来	500 円
ノーベル平和賞受賞者ワンガリ・マータイさんと語る 北九州市民・環境フォーラム 世界の環境首都をめざして 記録	300 円
「持続可能な開発のための教育」~(財)アジア女性交流・研究フォーラムの活動記録~	非売品

#### 農業女性シリーズ

アジアの農業女性のエンパワーメント―韓国と中国からの報告―	1,000 円
Empowerment of Female Farmers in Asia—Korea and China—	1,500円(品切れ)
Empowerment of Female Farmers in Asia—Vietnam and Thailand—	1,500 円

# アジアのドメスティック・バイオレンスシリーズ

アジアのドメスティック・バイオレンス(ハードカバー)	2,500 円
アジアのドメスティック・バイオレンス(ペーパーバック)	2,000 円
Domestic Violence in Asia—A Report from Korea and Cambodia—	800 円

#### アジア家族研究シリーズ

日本と韓国の家族意識の比較研究―福岡・ソウル調査を中心に―	2,000 円
A Comparative Study on the Family Consciousness between Korea and Japan —Centered on Seoul and Fukuoka—	2,000 円
現代タイの家族意識の研究―バンコク・ソウル・福岡調査の比較と共に―	2,000 円
A Study of Family Consciousness in Contemporary Thailand —With Comparison among Bangkok, Seoul and Fukuoka—	2,000 円

現代中国における都市家族の意識と生活に関する研究 一北京調査及びバンコク・ソウル・福岡との比較—	2,000 円
A Study on Life and Consciousness of Contemporary Urban Family in China —A Research in Beijing with Comparison among Bangkok, Seoul and Fukuoka—	2,000円 (品切れ)
アジアの経済発展と家族及びジェンダー	1,000 円
The Influences of Economic Development upon Women and Families —Experiences in Seven Asian Countries—	2,000 円
マレーシアの経済開発と家族及びジェンダー―経済危機の前夜まで―	2,000 円
Effects of Socio-Economic Development on Family and Gender Relations Before Economic Crisis in Malaysia—Focusing on Kuala Lumpur—	2,000 円
アジアの経済発展と家族及びジェンダー―改訂版―	1,200 円
変容するアジアの家族 シンガポール、台湾、ネパール、スリランカの現場から	3,080 円
アジアの働く女性シリーズ	
パキスタンの働く女性―綿摘み女性労働者と縫製業の女性労働者―	1,000 円
ベトナムの働く女性―ホーチミン市縫製工場の女性移住労働者―	1,000 円
フィリピンミンダナオ北部における経済開発と女性	1,000 円
―開発における社会・経済ジェンダー分析(SEGA)モデルの検証―	
客員研究員研究	
マレーシアとシンガポールにおける女性と政治 一ナショナリズム・国家建設・ジェンダー—	1,000 円
中国における社会福祉政策の展開状況に関する研究	1,000 円
Globalization の新潮流と「環境保全型経済発展の課題」 一東南アジア諸国における「中間階層」の増大との関連で一	1,000円 (品切れ)
上海市女性高齢者生活状況に関する訪問調査	1,000 円
アウンサンスーチーの思想と行動	1,000円 (品切れ)
アウンサンスーチーの思想と行動(ビルマ語付)	1,500円 (品切れ)
グローバリゼーションの新潮流と環境保全型経済発展の課題 一東南アジア諸国の事例で—	1,000 円
ミャンマーにおける女性の地位	1,000 円
インドにおける生涯にわたる健康とジェンダー	1,000 円
インドの経済開発と再生可能エネルギー利用—女性の社会的役割の増大する中で—	1,000 円
女性労働者の非正規化に関する日韓比較 一労働市場と女性政策、職場のジェンダー構造化の分析—	非売品
「法」・「貧困」・「ジェンダー」: 法多元主義と正義へのアクセス	非売品
フィリピンとミャンマーにおける、若者および女性を対象とした HIV / AIDS 対策に 関する調査研究	非売品
「権利をよりどころにするアプローチ」の展開とアジアの女性のエンパワーメント	*
大連市に進出の日本企業における現地採用女性従業員の労働実態と企業の社会的責任	*
表現アートセラピーを応用したリサーチ手法の可能性 一人身売買被害者の「<ほんもの>の語り」—	*
東北アジアにおけるジェンダー予算の動向一日本、韓国、台湾を事例として	*
中央アジア諸国におけるコミュニティ研究―ジェンダーの視点から― (ウズベキスタン、タジキスタン、カザフスタン、キルギスの事例より)	*
自治体の入札・契約におけるポジティブ・アクション評価による男女共同参画推進に 関する比較研究	*
東南アジアから東アジアへの国際移動と再生産労働の変容 一韓国・台湾・日本の比較研究—	*
内戦・津波災害下のこどもの健康 一スリランカ、トリンコマレ県の実態調査に見る性差—	*

# 起業家シリーズ

私の起業体験―きたきゅうしゅう・ふくおかの女性起業家たち―	1,000 円
アジアの女性起業家	1,000 円
Women Entrepreneurs in Selected Asian Countries	1,000 円
アジア女性シリーズ	
No. 1「中国の女性」	1,000 円
No. 2「スリランカの女性」	1,000 円
No. 3「インドネシアの女性」	1,000 円
No. 4「韓国の女性」	1,000 円
No. 5「フィリピンの女性」	1,000 円
No. 6「バングラデシュの女性」	1,000 円
No. 7「ベトナムの女性」	1,000 円
No. 8「タイの女性」	1,000 円
No. 9「中国の女性(改訂版)」	1,000 円
No. 10「シンガポールの女性」	1,000 円
No. 11「マレーシアの女性」	1,000 円
No. 12「インドの女性」	1,000 円
毎外通信員レポート集 	
Vol. 1 (1991-1992)	500 円
Vol. 2 (1992-1993)「家族教育と女性」	800 円
Vol. 3 (1993-1994) 「教育と女性」	800 円
Vol. 4 (1994-1995)「女性と家族」	800 円
Vol. 5 (1995-1996)「女性と労働」	800 円
Vol. 6 (1996-1997)「女性とエンパワーメント」	800 円
Vol. 7 (1997-1998) 「女性とエンパワーメント」	800 円
Vol. 8 (1998-1999)「女性と起業家」	800 円
Vol. 9 (1999-2000)「高齢者と子ども」	800 円
Vol. 10 (2000-2001) 「環境と女性」	800 円
Vol. 11 (2001-2002)「健康と女性」	非売品
<b>中間階層の研究シリーズ</b>	
現代フィリピンにおける「中間階層」の研究	1,000円 (品切れ)
現代タイにおける「中間階層」の研究	1,000円 (品切れ)
現代インドネシアにおける「中間階層」の研究	1,000円 (品切れ)
現代マレーシアにおける「中間階層」の研究	1,000円 (品切れ)
現代シンガポールにおける「中間階層」の研究	1,000円 (品切れ)
東南アジアにおける「中間階層」の研究	1,000円 (品切れ)
その他	
Princess Sunflower	1,500 円
おんなの軌跡北九州―北九州市女性の 100 年史―	3,000 円
7.7 0.7 (MA) 107 071 107 071 107 107 107 107 107 107	5,000   1

# (2) ビデオ

国際理解のための教材ビデオ(解説書つき)ライブラリー価格 10,000 円	通常価格
中国の子どもたち/スリランカのサボミちゃん	3,000円 (品切れ)
素顔の韓国/ほほ笑みの国・タイ	3,000円 (品切れ)
インドネシアの子どもたち/共に生きるアジアの隣人	3,000円 (品切れ)
陽気なフィリピンの子どもたち/手と手を結ぼう	3,000 円
こんにちはマレーシアの子どもたち/マレーシアってどんな国?	3,000 円
多文化社会の子どもたち/オーストラリアってどんな国?	3,500 円
シンチャオ こんにちはベトナム/ベトナムの子どもたち 一いちばん大切なものはなに?—	3,500 円

# ※全て税込価格です。

出版物、ビデオを郵送する場合、送料が別途かかります。

# 海外とのネットワーク

115 カ国 3 地域 延べ 1,373 人 (2022 年 3 月末まで)

合計	1,373
国 (115)	1,323
地域 (3)	50

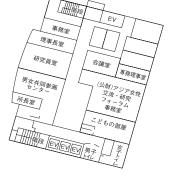
アジア	21 カ国	909
1	インド	60
2	インドネシア共和国	61
3	カンボジア王国	37
4	シンガポール共和国	31
5	スリランカ民主社会主義共和国	40
6	タイ王国	69
7	大韓民国	104
8	中華人民共和国	90
	(うち香港特別行政区)	9
9	ネパール連邦民主共和国	64
10	パキスタン・イスラム共和国	41
11	バングラデシュ人民共和国	48
12	東ティモール民主共和国	3
13	フィリピン共和国	98
14	ブータン王国	48
15	ブルネイ・ダルサラーム国	2
16	ベトナム社会主義共和国	35
17	マレーシア	34
18	ミャンマー連邦共和国	11
19	モルディブ共和国	11
20	モンゴル国	14
21	ラオス人民民主共和国	8
北米	2 カ国	88
1	アメリカ合衆国	84
2	カナダ	4
中南米	17 カ国	56
1	ウルグアイ東方共和国	6
2	エルサルバドル共和国	2
3	コスタリカ共和国	2
4	コロンビア共和国	1
5	ジャマイカ	1
6	スリナム共和国	3
7	セントルシア	1
8	チリ共和国	5
9	ドミニカ共和国	1
10	ニカラグア共和国	1
11	ハイチ共和国	2
12	パナマ共和国	4
13	パラグアイ共和国	1
14	ブラジル連邦共和国	12
15	ペルー共和国	7
16	ホンジュラス共和国	1
17	メキシコ合衆国	6
	NIS 諸国を含む) 24 カ国	63
1	アルバニア共和国	4
2	英国(グレート・ブリテン及び北アイルランド連合王国)	9
3	イタリア共和国	2
4	ウズベキスタン共和国	$\frac{2}{2}$
5	オランダ王国	$\frac{2}{4}$
6	キプロス共和国	1
$\frac{6}{7}$	キルギス共和国	2
8	クロアチア共和国	1
9	コソボ共和国	8
10	スウェーデン王国	1
11	タジキスタン共和国	$\frac{1}{2}$
12	<u> </u>	1
13	テエコ共和国   デンマーク王国	
-	ドイツ連邦共和国	$\frac{2}{2}$
14		
15	ノルウェー王国 フィンランド共和国	3
16	フィンランド共和国 ボスニア・ヘルツェゴビナ	<u> </u>
1/	<u> </u>	- 0

18	ポルトガル共和国	1
19	マケドニア旧ユーゴスラビア共和国	1
20	モルドバ共和国	3
21	ロシア連邦	2
22	ジョージア	2
23	スイス連邦	2
24	セルビア共和国	1
大洋州	9 カ国	68
1	オーストラリア連邦	18
2	キリバス共和国	1
3	サモア独立国	3
4	ソロモン諸島	4
5	パプアニューギニア独立国	19
6	パラオ共和国	1
7	バヌアツ共和国	2
8	フィジー諸島共和国	19
9	ミクロネシア連邦	1
中東	8 カ国	33
1	アフガニスタン・イスラム共和国	12
2	イエメン共和国	2
3	イスラエル国	1
4	イラク共和国	1
5	イラン・イスラム共和国	3
6	シリア・アラブ共和国	1
7	トルコ共和国	5
8	ヨルダン・ハシェミット王国	8
アフリ		106
1	アルジェリア民主人民共和国	1
2	ウガンダ共和国	7
3	エジプト・アラブ共和国	5
4	エリトリア国	1
5	ガーナ共和国	11
6	ガボン共和国	1
7	カメルーン共和国	2
8	ケニア共和国	11
9	コートジボワール共和国	4
10		
10	コンゴ共和国	1
11	コンコ共和国 コンゴ民主共和国(旧ザイール)	
	コンゴ民主共和国(旧ザイール) サントメ・プリンシペ民主共和国	1
11	コンゴ民主共和国(旧ザイール) サントメ・プリンシペ民主共和国 ザンビア共和国	1 2
11 12	コンゴ民主共和国(旧ザイール) サントメ・プリンシペ民主共和国 ザンビア共和国 ジンバブエ共和国	1 2 1
11 12 13	コンゴ民主共和国(旧ザイール) サントメ・プリンシペ民主共和国 ザンビア共和国 ジンバブエ共和国 スワジランド王国	1 2 1 3
11 12 13 14 15 16	コンゴ民主共和国(旧ザイール) サントメ・プリンシペ民主共和国 ザンビア共和国 ジンバブエ共和国 スワジランド王国 赤道ギニア共和国	1 2 1 3 2 3 1
11 12 13 14 15	コンゴ民主共和国(旧ザイール) サントメ・プリンシペ民主共和国 ザンビア共和国 ジンバブエ共和国 スワジランド王国 赤道ギニア共和国 セネガル共和国	1 2 1 3 2 3
11 12 13 14 15 16	コンゴ民主共和国(旧ザイール) サントメ・プリンシペ民主共和国 ザンビア共和国 ジンバブエ共和国 スワジランド王国 赤道ギニア共和国 セネガル共和国 タンザニア連合共和国	1 2 1 3 2 3 1
11 12 13 14 15 16 17 18 19	コンゴ民主共和国(旧ザイール) サントメ・プリンシペ民主共和国 ザンビア共和国 ジンバブエ共和国 スワジランド王国 赤道ギニア共和国 セネガル共和国 タンザニア連合共和国 チャド共和国	1 2 1 3 2 3 1 1
11 12 13 14 15 16 17 18	コンゴ民主共和国(旧ザイール) サントメ・プリンシペ民主共和国 ザンビア共和国 ジンバブエ共和国 スワジランド王国 赤道ギニア共和国 セネガル共和国 タンザニア連合共和国 チャド共和国 中央アフリカ共和国	1 2 1 3 2 3 1 1 5
11 12 13 14 15 16 17 18 19	コンゴ民主共和国(旧ザイール) サントメ・プリンシペ民主共和国 ザンビア共和国 ジンバブエ共和国 スワジランド王国 赤道ギニア共和国 セネガル共和国 タンザニア連合共和国 チャド共和国 中央アフリカ共和国 ナイジェリア連邦共和国	1 2 1 3 2 3 1 1 5
11 12 13 14 15 16 17 18 19 20	コンゴ民主共和国(旧ザイール) サントメ・プリンシペ民主共和国 ザンビア共和国 ジンバブエ共和国 スワジランド王国 赤道ギニア共和国 セネガル共和国 タンザニア連合共和国 チャド共和国 中央アフリカ共和国 ナイジェリア連邦共和国 ニジェール共和国	1 2 1 3 2 3 1 1 1 5 2
11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21	コンゴ民主共和国(旧ザイール) サントメ・プリンシペ民主共和国 ザンビア共和国 ジンバブエ共和国 スワジランド王国 赤道ギニア共和国 セネガル共和国 タンザニア連合共和国 チャド共和国 中央アフリカ共和国 ナイジェリア連邦共和国 ニジェール共和国 ブルキナファソ	1 2 1 3 2 3 1 1 5 2 1
11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	コンゴ民主共和国(旧ザイール) サントメ・プリンシペ民主共和国 ザンビア共和国 ジンバブエ共和国 スワジランド王国 赤道ギニア共和国 セネガル共和国 タンザニア連合共和国 チャド共和国 中央アフリカ共和国 ナイジェリア連邦共和国 ニジェール共和国 ブルキナファソ ブルンジ共和国	1 2 1 3 2 3 1 1 1 5 2 2 1 1 11
11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25	コンゴ民主共和国(旧ザイール) サントメ・プリンシペ民主共和国 ザンビア共和国 ジンバブエ共和国 スワジランド王国 赤道ギニア共和国 セネガル共和国 タンザニア連合共和国 チャド共和国 中央アフリカ共和国 ナイジェリア連邦共和国 ニジェール共和国 ブルキナファソ ブルンジ共和国 ベナン共和国	1 2 1 3 2 3 1 1 5 2 1 11 4 2 1
11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26	コンゴ民主共和国(旧ザイール) サントメ・プリンシペ民主共和国 ザンビア共和国 ジンバブエ共和国 スワジランド王国 赤道ギニア共和国 セネガル共和国 タンザニア連合共和国 チャド共和国 中央アフリカ共和国 ナイジェリア連邦共和国 ニジェール共和国 ブルキナファソ ブルンジ共和国 ベナン共和国 ボッワナ共和国	1 2 1 3 2 3 1 1 5 2 1 11 4 2
11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26	コンゴ民主共和国(旧ザイール) サントメ・プリンシペ民主共和国 ザンビア共和国 ジンバブエ共和国 スワジランド王国 赤道ギニア共和国 セネガル共和国 タンザニア連合共和国 チャド共和国 中央アフリカ共和国 ナイジェリア連邦共和国 ニジェール共和国 ブルキナファソ ブルンジ共和国 ベナン共和国 ボツワナ共和国 マダガスカル共和国 マダガスカル共和国	1 2 1 3 2 3 1 1 5 2 1 11 4 2 1 1 1 1
11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27	コンゴ民主共和国(旧ザイール) サントメ・プリンシペ民主共和国 ザンビア共和国 ジンバブエ共和国 スワジランド王国 赤道ギニア共和国 セネガル共和国 タンザニア連合共和国 チャド共和国 中央アフリカ共和国 ナイジェリア連邦共和国 ニジェール共和国 ブルキナファソ ブルンジ共和国 ベナン共和国 ボツワナ共和国 マダガスカル共和国 マラウイ共和国 マラウイ共和国	1 2 1 3 2 3 1 1 5 2 1 11 4 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26	コンゴ民主共和国(旧ザイール) サントメ・プリンシペ民主共和国 ザンビア共和国 ジンバブエ共和国 スワジランド王国 赤道ギニア共和国 セネガル共和国 タンザニア連合共和国 チャド共和国 中央アフリカ共和国 ナイジェリア連邦共和国 ニジェール共和国 ブルキナファソ ブルンジ共和国 ベナン共和国 ボツワナ共和国 マダガスカル共和国 マラウイ共和国 マリ共和国 マリ共和国 マリ共和国 マリ共和国 マリ共和国 マリ共和国 マリ共和国 マリ共和国	1 2 1 3 2 3 1 1 5 2 1 11 4 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29	コンゴ民主共和国(旧ザイール) サントメ・プリンシペ民主共和国 ザンビア共和国 ジンバブエ共和国 スワジランド王国 赤道ギニア共和国 セネガル共和国 タンザニア連合共和国 チャド共和国 中央アフリカ共和国 ナイジェリア連邦共和国 ニジェール共和国 ブルキナファソ ブルンジ共和国 ベナン共和国 ベナン共和国 ボツワナ共和国 マダガスカル共和国 マリ共和国 アフリカ共和国	1 2 1 3 2 3 1 1 5 2 1 11 4 2 1 1 1 1 1 1 1 1 2 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1
11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	コンゴ民主共和国(旧ザイール) サントメ・プリンシペ民主共和国 ザンビア共和国 ジンバブエ共和国 スワジランド王国 赤道ギニア共和国 セネガル共和国 タンザニア連合共和国 チャド共和国 中央アフリカ共和国 ナイジェリア連邦共和国 ニジェール共和国 ブルキナファソ ブルンジ共和国 ベナン共和国 ボツワナ共和国 マダガスカル共和国 マリ共和国 マリ共和国 マリ共和国 マリ共和国 マリ共和国 マリ共和国 マリ共和国 マリ共和国 マクナ共和国 マクナ共和国 マクナ共和国 マクナ共和国 マクナ共和国 マクナ	1 2 1 3 2 3 1 1 5 2 1 11 4 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32	コンゴ民主共和国(旧ザイール) サントメ・プリンシペ民主共和国 ザンビア共和国 ジンバブエ共和国 スワジランド王国 赤道ギニア共和国 セネガル共和国 タンザニア連合共和国 チャド共和国 中央アフリカ共和国 中央アフリカ共和国 ナイジェリア連邦共和国 ニジェール共和国 ブルキナファソ ブルンジ共和国 ベナン共和国 ボツワナ共和国 マダガスカル共和国 マリ共和国 ーーリシャス共和国 モーリシャス共和国	1 2 1 3 2 3 1 1 5 2 1 11 4 2 1 1 1 1 1 1 1 1 2 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1
11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	コンゴ民主共和国(旧ザイール) サントメ・プリンシペ民主共和国 ザンビア共和国 ジンバブエ共和国 スワジランド王国 赤道ギニア共和国 セネガル共和国 タンザニア連合共和国 チャド共和国 中央アフリカ共和国 ナイジェリア連邦共和国 ニジェール共和国 ブルキナファソ ブルンジ共和国 ベナン共和国 ベナン共和国 ボツワナ共和国 マダガスカル共和国 マリ共和国 マリカー 南アフリカ共和国 南アフリカ共和国 南アフリカ共和国 南アフリカ共和国 南アフリカ共和国 市アフリカ共和国 市アフリカ共和国 市アフリカ共和国 市アフリカ共和国 市アフリカ共和国 市スーダン共和国 モーリシャス共和国 モーリタニア・イスラム共和国	1 2 1 3 2 3 1 1 5 2 1 11 4 2 1 1 1 1 1 1 1 2 3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1
11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34	コンゴ民主共和国(旧ザイール) サントメ・プリンシペ民主共和国 ザンビア共和国 ジンバブエ共和国 スワジランド王国 赤道ギニア共和国 セネガル共和国 タンザニア連合共和国 チャド共和国 中央アフリカ共和国 中央アフリカ共和国 ナイジェリア連邦共和国 ニジェール共和国 ブルキナファソ ブルンジ共和国 ベナン共和国 ボツワナ共和国 マダガスカル共和国 マリ共和国 ーーリシャス共和国 モーリシャス共和国	1 2 1 3 3 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 3 3 2 1 1
11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	コンゴ民主共和国(旧ザイール) サントメ・プリンシペ民主共和国 ザンビア共和国 ジンバブエ共和国 スワジランド王国 赤道ギニア共和国 セネガル共和国 タンザニア連合共和国 チャド共和国 中央アフリカ共和国 ナイジェリア連邦共和国 ニジェール共和国 ブルキナファソ ブルンジ共和国 ベナン共和国 ベナン共和国 ボツワナ共和国 マダガスカル共和国 マリ共和国 南スーダン共和国 モーリシャス共和国 モーリタニア・イスラム共和国 レソト王国 3地域	1 2 1 3 2 3 3 1 1 1 5 2 2 1 11 4 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34	コンゴ民主共和国(旧ザイール) サントメ・プリンシペ民主共和国 ザンビア共和国 ジンバブエ共和国 スワジランド王国 赤道ギニア共和国 セネガル共和国 タンザニア連合共和国 チャド共和国 中央アフリカ共和国 ナイジェリア連邦共和国 ニジェール共和国 ブルキナファソ ブルンジ共和国 ベナン共和国 ベナン共和国 ボツワナ共和国 マダガスカル共和国 マダガスカル共和国 マリ共和国 マリ共和国 マリ共和国 マリ共和国 マリ共和国 マリ共和国 マリ共和国 マリ共和国 マリナ カースーダン共和国 モーリシャス共和国 モーリタニア・イスラム共和国 レソト王国 3地域 イギリス領ヴァージン諸島	1 2 3 3 2 3 1 1 5 2 1 11 4 2 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1
11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 地域	コンゴ民主共和国(旧ザイール) サントメ・プリンシペ民主共和国 ザンビア共和国 ジンバブエ共和国 スワジランド王国 赤道ギニア共和国 セネガル共和国 タンザニア連合共和国 チャド共和国 中央アフリカ共和国 ナイジェリア連邦共和国 ニジェール共和国 ブルキナファソ ブルンジ共和国 ベナン共和国 ベナン共和国 ボツワナ共和国 マダガスカル共和国 マリ共和国 南スーダン共和国 モーリシャス共和国 モーリタニア・イスラム共和国 レソト王国 3地域	1 2 1 3 2 3 1 1 1 5 2 2 1 11 4 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

#### 施設案内

北九州市大手町ビルは地上10階、地下2階建てで、平成7年7月に開館しました。 1階から5階までが北九州市立男女共同参画センター・ムーブで、公益財団法人アジア女性交流・ 研究フォーラムは3階に入居しています。

# 3階 FLOOR GUIDE EV 理事長室 研究員室 会議室 男女共同参画 センター オーラム







#### 主 な 施 設

- 9·10F 北九州市立大手町練習場
  - 8F 北九州市人権推進センター
- 6 ・ 7 F (公財)アジア成長研究所

5 F

4 F

3 F (公財)アジア女性交流・研究フォーラム

北九州市立 男女共同参画 センター・ムーブ

2 F 1 F

B1·2F 地下駐車場(有料·100台収容)

#### アクセス

- ①JR西小倉駅より
- 1) 徒歩約15分
- 2) 西鉄バス
  - ・西小倉駅前 ソレイユホール・ムーブ前下車 27、45、76、110、134、138、150、170、175、197

#### ②JR小倉駅より

- 1) 西鉄バス
  - ・小倉駅バスセンター ソレイユホール・ムーブ前下車
  - 27、45、110、134、138 ・小倉駅入口 ソレイユホール・ムーブ前下車 76、150、170、175、197
- ③北九州都市高速道路 勝山ランプ/大手町ランプより約3分

#### 指定管理施設の案内

北九州市立男女共同参画センター・ムーブ



₹803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号 TEL(093)583-3939 FAX(093)583-5107 メールアドレス move@move-kitakyu.jp ホームページ http://www.kitakyu-move.jp

# (公財) アジア女性交流・研究フォーラム 令和 3(2021)年度 年報

発 行 (公財) アジア女性交流・研究フォーラム

〒 803-0814 北九州市小倉北区大手町 11-4

 $\mathrm{TEL}\ (093)\ 583\text{-}3434$ 

FAX (093) 583-5195

HP http://www.kfaw.or.jp

発 行 月 令和4年8月



公益財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム KITAKYUSHU FORUM ON ASIAN WOMEN

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号 北九州市大手町ビル3階電話 093-583-3434 FAX 093-583-5195 E-mail: kfaw@kfaw.or.jp ホームページ http://www.kfaw.or.jp